令和３年度

事　業　報　告　書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

令和３年度事業報告

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団（以下,「財団」という。）は，指定管理者として京都コンサートホール，ロームシアター京都及び地域文化会館（５館）の施設管理運営を行うとともに，京都市交響楽団の運営に当たっております。

令和３年度も，２年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により，多くの財団自主公演で中止やプログラムの変更等を行うこととなりました。

また，京都市から貸館利用の受付の中止，施設の一時休館の指示が出される中，貸館利用のキャンセルが相次ぎ，前年度同様に厳しい財政状況になるなど，先行きが見通せない１年となりました。

そのような中にあっても，各施設において感染拡大防止対策を適切に行いつつ，京都の文化芸術の魅力を様々な方法により発信し，文化芸術による心豊かな社会に資する取組を進めてまいりました。

さらに，中長期的な視点に立った財団経営を推進していくため,「中期経営計画２０２５」（計画期間　令和４年度～７年度）を策定し，これに基づき，令和４年度以降も事業を展開していくことといたしました。

『公益目的事業』

■　京都コンサートホール

Ⅰ　主催・共催事業〔全４６事業５６公演３講座
（うち中止１２事業１２公演，延期２事業２公演）〕

令和３年度は指定管理期間の３年目として，また「京都の秋 音楽祭」開始から２５年の節目の年として，文化芸術都市・京都におけるクラシック音楽の拠点である京都コンサートホールは，大ホール，アンサンブルホールムラタ，そしてエントランスホールで多彩な事業を企画しました。昨年度に引き続き，新型コロナウイルス感染症の影響により多くの公演が中止・延期となりましたが，京都の文化芸術を牽引する存在として，本物の芸術を鑑賞できる機会を提供し，生演奏を鑑賞する喜びを広く発信しました。

１　京都市交響楽団の更なる飛躍を促進

京都コンサートホールをフランチャイズホールとする京都市交響楽団による優れた演奏会を開催しました。「第２５回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」では，指揮に京都市交響楽団桂冠指揮者の大友直人，チェロ独奏に宮田大，そしてオルガン独奏に冨田一樹を迎えて，フランスの作曲家サン=サーンス没後１００年を記念した特別プログラムを披露しました。『京都コンサートホール×京都市交響楽団プロジェクト Vol.２』では「ショパン！ショパン！！ショパン！！！」と題し、３人の若手ピアニストを招聘して，ショパンのピアノ独奏付き管弦楽曲３曲を演奏し，大好評を博しました。

また，京都市交響楽団のメンバーの活動を支える取組として，「アンサンブル弦伍楼Vol.２」「ヴィオラの花道II」「京都 ラ ビッシュ アンサンブル Vol.１７」「京都しんふぉにえった」「ラ・メリ メロ アンサンブルVol.５」「ブランデンブルク協奏曲全曲演奏会Vol.３」の６公演を制作し共催しました。

２　質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供

世界の響きをお届けする海外オーケストラ公演では，「ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団」及び「ムジカエテルナ」を招聘する予定でしたが，新型コロナウイルス感染症の影響により来日が叶わず，開催中止となりました。

“新型コロナウイルス感染症に屈しない”という強いメッセージを込めた４つのコンサート・シリーズ『The Power of Music～いまこそ、音楽の力を～』では，各公演において時代を反映させたテーマを設定し，京都コンサートホールでしか聴くことのできない質の高い演奏を提供しました。音楽が持つ力をあらためて発信した本コンサート・シリーズは，各メディアでも大きく取り上げられ，大きな話題を呼びました。

また，アンサンブルホールムラタにおいては，平成２７年度からスタートした海外アーティストによる「北山クラシック倶楽部」シリーズを７公演予定しておりましたが，そのうち６公演が中止となりました。

３年にわたり開催してきた『３つの時代を巡る楽器物語』の最終章となる「J.S.バッハとミートケ」については，海外アーティストから日本人アーティストに変更したうえで開催し，質の高い演奏を聴衆に届けることができました。

３　日本有数のパイプオルガンの活用

国内最大級のパイプオルガンを活用した「オムロンパイプオルガン コンサートシリーズ」では，話題の奏者を起用した“オルガニスト・エトワール”と，海外で活躍するオルガニストを招いて行う“世界のオルガニスト”の２つの公演を開催しました。“世界のオルガニスト”ではドイツ在住の日本人オルガニストを招聘する予定でしたが，水際対策強化のため来日が叶わず，急きょ日本在住のベルギー人オルガニストが出演し，バッハなどの作品を披露しました。

４　ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援

京都市立芸術大学をはじめ関西の音楽大学８大学が集結する「関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール」は，新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ，節目となる第１０回公演を無事に開催することができました。

京都市ジュニアオーケストラによる「第１７回京都市ジュニアオーケストラコンサート」においても，感染拡大防止策を講じて開催することができました。指揮に，２０２２年３月まで京都市交響楽団第１３代常任指揮者兼芸術顧問を務めたスーパーヴァイザー広上淳一が登場し，ラフマニノフの傑作《交響曲第２番》等を演奏しました。一連の活動を通して，若い演奏家たちに演奏技術の向上や文化芸術を通して相互理解を図る貴重な機会を提供するとともに，一般の方々に未来を担う若い世代の演奏を鑑賞する機会を提供しました。

５　子どもや青少年の創造性を育む事業

家族やクラシック音楽の初心者を対象とした『KCH的クラシック音楽のススメ 第２回』では，いま人気沸騰中のThe Rev Saxophone Quartetが出演し，４名のサクソフォーン奏者による至極のハーモニーを子どもから大人まで，幅広い層の聴衆に届けることができました。幼稚園児がオルガンに親しむ体験型演奏会「ポジティフオルガン体験講座」では，新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ，様々な工夫を施しながら，２園計８８名の幼児に音楽の楽しさを伝えることができました。

さらに第１期登録アーティストの活動最終年を迎えた「Join us（ジョイ・ナス）！～キョウト・ミュージック・アウトリーチ～」では，京都ゆかりの若手音楽家３組が市内の小学校に加え，老人介護福祉施設や障がい者施設等を訪れ，生演奏の素晴らしさを音楽とお話で多くの方々に伝えました。

６　地域の活性化と市民参加型演奏会の開催

平日午前１１時開演のランチタイムコンサート「京都北山マチネ・シリーズ」では，ヴァイオリン，ピアノ，カウンターテナー，クラリネット＆ギターの４公演を開催し，日本の若手～中堅音楽家の存在や活動を周知することができました。また，公募によって出演者を決定する「リレーコンサート」では，京都だけでなく関東方面からの参加もあり，多彩な演奏を楽しむことができるコンサートとなりました。北山あおいフェスティバルと同時開催し，まちづくりを通じて地域の活性化に貢献しました。

７　賑わい事業の開催

京都コンサートホール１階エントランスホールを活用した賑わい事業として「ニュイ・ブランシュKYOTO ２０２１」（白夜祭）及び「京都コンサートホール ロビーコンサート」を感染拡大防止策として入場制限を設けたうえで開催しました。「ロビーコンサート」では，箏＆唄，チェンバロ，フルートといったバラエティ豊かな演奏とプログラムを提供しました。

また，１１月には北山地域と協働で「北山モザイク」と称したダンス・パフォーマンスを開催し，１２月にはクリスマスの季節感を創出するためにイルミネーションとバルーンアートを設置しました。

（参考）京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

年　度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事 業 数	46 事業	37 事業	44 事業	46 事業
公 演 数	50 公演	42 公演	62 公演	55 公演
講 座 数	4 講座	10 講座	5 講座	4 講座

※新型コロナウイルス感染症の影響により，令和元年度はうち中止2事業3公演，令和2年度はうち中止17事業29公演5講座，延期13事業12公演，令和3年度はうち中止11事業11公演，延期2事業2公演。

８　音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため，音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度」を引き続き実施し，大学の交響楽団演奏会など１４事業を支援しました。

（参考）令和３年度 京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度による支援実績

事　業　名	事　業　日	主　催　者
京都女子中学高等学校オーケストラ部 第37回定期演奏会	4月2日（金） 大ホール	京都女子中学高等学校 オーケストラ部
京都両洋高等学校吹奏楽部 第10回定期演奏会	7月21日（水） 大ホール	京都両洋高等学校吹奏楽部
立命館大学交響楽団 第126回定期演奏会	12月17日（金） 大ホール	立命館大学交響楽団
京都大学交響楽団 第210回定期演奏会	12月21日（火） 大ホール	京都大学交響楽団
京都光華中学校・高等学校吹奏楽部 第36回定期演奏会	12月24日（金） 大ホール	京都光華中学校・高等学校 吹奏楽部
フレンドシップコンサート ～プラハ＆HERZ	3月16日（水） 大ホール	京都両洋高等学校吹奏楽部
京都文教中学・高等学校吹奏楽部 定期演奏会	3月18日（金） 大ホール	京都文教中学・高等学校 吹奏楽部
京都精華学園高等学校吹奏楽部 第35回定期演奏会	3月24日（木） 大ホール	京都精華学園高等学校 吹奏楽部
令和3年度京都市立修学院中学校吹奏楽部 定期演奏会	3月25日（木） 大ホール	京都市立修学院中学校 吹奏楽部
京都市立上京中学校吹奏楽部 第38回定期演奏会	3月28日（月） 大ホール	京都市立上京中学校 吹奏楽部
京都市立近衛中学校吹奏楽部吹奏楽部 定期演奏会	3月28日（月） 小ホール	京都市立近衛中学校 吹奏楽部
第28回 京都府立北稜高等学校吹奏楽部 定期演奏会	3月29日（火） 大ホール	京都府立北稜高等学校 吹奏楽部
大谷中学高等学校吹奏楽部 第58回定期演奏会	3月30日（水） 大ホール	大谷中学高等学校吹奏楽部
京都府立北嵯峨高等学校吹奏楽部 第40回定期演奏会	3月31日（木） 大ホール	京都府立北嵯峨高等学校 吹奏楽部

※このほか，新型コロナウイルス感染症の影響に伴うキャンセル1件。

Ⅱ　受託事業

１　指定管理業務

（１）施設（貸館）の利用実績

京都コンサートホールにおいては，「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を果たすとともに，音楽とのすばらしい出会いを創出し，市民の芸術文化振興の拠点となるよう，利用者ニーズの把握を積極的に行うなど利用の促進に努める予定でしたが，新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業の中止等が生じ，利用日数や利用料金収入の実績に影響がありました。

そうした中，新型コロナウイルス感染拡大防止のためホールの利用についてのガイドラインを策定・改定し，感染症の状況や特徴を踏まえた具体的な利用上の注意点を示す等により，感染拡大防止に努めながら催しが開催できるよう工夫しました。

場内サービス，各種設備の運転等についても，感染症の状況を踏まえた運用の見直し等を行ったほか，館内の定期的な消毒，検温機器の導入やアクリル板等の設置，ロビーにおける椅子の配置の見直し等も行い，安全，安心で快適な劇場空間の提供に引き続き努めました。

また，前年度に引き続き，コロナ禍で練習場所や舞台づくり，会場設営などで悩んでおられる音楽団体の方々を支援するため，大ホールを通常利用料金より割引した金額で利用できる「リハーサル支援制度」を実施し，５件の利用がありました。

さらに，新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け，公演等の活動を休止した団体及び個人等に対し，令和３年１１月から令和４年２月にかけて，京都府文化団体等活動継続支援事業を活用した公演を募集し，施設利用料金等について京都府が負担する活動支援を実施しました。

実績１　利用料金収入額

区　分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ホール料金収入額	215,182 千円	183,729 千円	85,429 千円	170,928 千円
駐車場利用収入額	17,956 千円	14,858 千円	6,912 千円	11,355 千円
計	233,138 千円	198,587 千円	92,341 千円	182,283 千円

実績２　入場者数

区　分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入場者数の目標値	325,000 名	290,000 名	296,000 名	296,000 名
入場者数の実績値	295,466 名	264,658 名	48,209 名	103,894 名
目標達成度	90.9 ％	91.2 ％	16.2 ％	35.0 ％

実績３　日数利用率

大ホール

区　分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用率（日数）の目標値	70 %	68 %	67 %	68 %
利用率（日数）の実績値	69 %	61 %	40 %	72 %
目　標　達　成　度	98.6 %	88.2 %	59.7 %	104.4 %

アンサンブルホールムラタ

区　分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用率（日数）の目標値	58 %	60 %	62 %	60 %
利用率（日数）の実績値	61 %	57 %	28 %	55 %
目　標　達　成　度	105.2 %	95.0 %	41.7 %	90.0 %

２　お客様へのサービス向上に向けた取組

（１）お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

平成２１年度からCS（顧客満足度向上）委員会やホールレセプショニスト会議を毎月開催し，施設の管理運営における問題点の改善や利用者のサービス向上に努めました。

特にCS委員会においては，施設で働く各部門の従事者の代表が参加し，利用ニーズの把握，要望の検証等を行い，「利用者が望むものは何か」を常に考え，利用者の期待に応える接客・応対について協議してまいりました。

（２）アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置

平成２３年１１月から実施している「理事長への手紙」を引き続き実施し，手紙をいただいた皆様からの貴重なご意見を参考にサービス向上に努めました。

また，施設の利用に関する要望・提案をお伺いするため，「お客様ご意見箱」を設置し，さらなるサービス向上に努めました。

また，京都コンサートホール・ロームシアター京都の施設をご利用いただいた皆様には，後日，アンケートを兼ねたお礼状（サンキューレター）を送付し，リピーターの確保及び利用者ニーズの把握に努めました。

（参考）アンケート調査の結果【満足と回答いただいた割合】

項　目	京都コンサートホール	東部文化会館	呉竹文化センター	西文化会館ウエスティ	北文化会館	右京ふれあい文化会館	ロームシアター京都
案内表示	99%	99%	99%	99%	96%	96%	81%
応対の仕方	100%	99%	98%	98%	99%	85%	99%
身だしなみ	100%	99%	99%	99%	99%	87%	100%
態　度	100%	99%	97%	98%	98%	86%	99%
言葉づかい	100%	99%	99%	99%	98%	86%	99%
説明の仕方	98%	99%	99%	100%	98%	84%	96%
窓口の印象	100%	99%	99%	97%	98%	98%	94%
感染症対策	99%	98%	100%	99%	98%	98%	94%

（３）京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでいただくため，「鑑賞マナーリーフレット」の配布や館内に鑑賞マナー向上を啓発するポスターを掲出して，京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるコンサートづくりに努めました。

（４）施設・設備の維持管理

京都コンサートホールは開館から２６年が経過したことで，施設・設備の経年劣化が進んでいるため，財団としてもより一層施設等の修繕に力を入れ，安全面や利用者の快適性を視野に入れた改善に取り組みました。所有者である京都市による施設・設備の改修及び修繕のほか，財団においても京都市との指定管理契約に基づき，計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

また，大規模修繕へ向けて，京都市に対し引き続き計画的対応を提案してまいりました。

（参考）主な修繕事例（財団実施分）

修　繕　内　容
大・小ホール客席扉修繕
大ホール客席手すり修繕
庭園灯修繕
クローク内カーペット張替
楽屋等空調修繕

（５）施設管理体制の更なる強化

利用者，観客等の安全確保を最優先に考え，令和３年度は，実際の勤務形態にあわせた職員の人数を想定した「防火・防災訓練」を行い，職員の危機管理意識の更なる向上に努めました。

３　広報・宣伝，チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

（１）主催事業ラインアップ・リーフレットの発行

年間の主催事業ラインアップを事業のシリーズ毎に分類して紹介するレイアウトで構成し，発行しました。

（２）催物カレンダーの発行

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業，それらに関するコラムのほか，京都コンサートホールで開催される最新の催物情報を掲載したコンサートガイドを毎月発行し，催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。

（３）ホームページ等の充実

WEBアクセシビリティ向上のため，共通メニューの改修やお客様が目的の公演チケットをスムーズに購入出来るように購入画面への遷移を的確にする改修を行いました。

また，京都コンサートホールの魅力をより多くの方に知っていただくため，施設や事業の様子等を撮影したプロモーションビデオを制作し，ホームページに掲載しました。

引き続き，インターネットの利点を最大限に活かし，常に新鮮な情報を発信するため，Facebook，Twitter，公式ブログやYouTubeに加えて，新たにInstagramの公式アカウントを開設し，効果的な情報提供を行うとともに，さらに魅力あるホームページとなるよう，充実を図りました。

（参考）ホームページ月平均アクセス件数

会　館　名	令和２年度	令和３年度	令和３年度 －令和２年度
京都コンサートホール	61,727 件	91,886 件	30,159 件
ロームシアター京都	226,006 件	232,831 件	6,825 件
東部文化会館	8,359 件	11,827 件	3,468 件
呉竹文化センター	11,810 件	16,057 件	4,247 件
西文化会館ウエスティ	8,007 件	9,975 件	1,968 件
北文化会館	14,280 件	17,479 件	3,199 件
右京ふれあい文化会館	10,976 件	13,651 件	2,675 件
京都市交響楽団	115,735 件	103,347 件	△12,388 件

（４）チケット票券管理システムの効果的な運用

京都コンサートホールとロームシアター京都で開催する催しのチケットが相互で購入できるサービスや，インターネットからのチケット購入において各施設の窓口で引き取れるなど，引き続き利便性の向上に取り組みました。

（５）電子チケットの導入（Gettii チケットれすQ）

会場でのチケットモギリの際の接触機会を低減させることや，利便性の向上を図ることを目的とし，新たに電子チケットを導入しました。スマートフォンやパソコンにQRコード（二次元コード）を発行し，読み取り機にQRコードをかざすだけで入場できるチケットとして，令和４年度以降の自主公演を対象とし，１２月チケット販売開始分から取り組みを始めました。

（６）貸館利用者のチケット販売受託業務の実施

チケット管理システム（Gettii）を使用して，貸館利用者のチケット販売を受託（手数料１０％）し，施設利用者や観客の利便性向上に貢献しました。

（参考）入場券販売業務受託状況

会　館　名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	145 件	12,192,655 円
ロームシアター京都	89 件	5,826,236 円
計	234 件	18,018,891 円

（７）セット券の販売

京都コンサートホールでは，アンサンブルホールムラタで世界のトップクラスの室内楽を鑑賞する「北山クラシック倶楽部」において，前半３公演，後半４公演の２回に分けて，それぞれ１００枚限定でセット券を販売しました（新型コロナウイルス感染症感染拡大のため，前半２公演，後半４公演を中止）。

（８）学生，高齢者，障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

京都コンサートホールの主催事業における学生割引，シニア割引，障がいのある方割引を実施し，学生，高齢者，障がいのある方が音楽を鑑賞しやすい環境を整備しました。

（９）ウィークデーパッケージプランの運用

クラシック音楽だけではなく，他のジャンルにも間口を広げ，多様な音楽ファンが集えるホールとして「京都コンサートホールウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し，平日のホール利用率向上に貢献しました。

（参考）京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン事業数

年　度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事　業　数	16 事業	5 事業	3 事業	5 事業

（参考）令和3年度 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事　業　名	事　業　日	主　催　者
第24回シネマ・コンサートの会	7月16日（金） アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
シンフォニエッタ静岡 第68回定期公演	10月14日（金） アンサンブルホールムラタ	京都ミューズ
近藤嘉宏playsショパン＆リスト 「別れの曲」シネマ＆リサイタル	10月28日（金） アンサンブルホールムラタ	グループ・未来
ベルリンフィル・クインテット	12月1日（木） 大ホール	(一財)民主音楽協会 関西センター
第25回シネマ・コンサートの会	2月18日（金） アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ

（１０）京都の秋 音楽祭記念グッズの販売

京都の秋 音楽祭のスタートから２５年を記念して，京都市立芸術大学美術学部の学生によるデザインを起用した，４パターンからなるオリジナル・ノートブックを制作し販売しました。

（１１）京都コンサートホール レセプショニスト ユニフォームリニューアル

オープン当初より着用していたユニフォームについて，開館２５周年を機にリニューアルし，「第２５回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」において披露しました。

（１２）外部資金の獲得

主催事業の実施に当たっては，文化庁助成，民間助成に加え，民間企業等からの協賛金の獲得に努めました。さらには，賛助会員制度（４　各種会員制度等の運営（２）賛助会員制度の運営　参照）の活用を行いました。

４　各種会員制度等の運営

（１）各種会員制度の会員数拡大に向けた取組

「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」「京響友の会」の各会員制度の周知を図るとともに，会員共通サービスとして京都市交響楽団の練習風景の公開やバックステージツアーを開催するなど，各会員制度を有機的に活用し，新規会員の獲得に努めました。ただし，「京響友の会」の募集については，新型コロナウイルス感染症における社会状況を鑑み，令和３年度は１年間休止しました

また，オンライン会員の「フレンズ会員」（ロームシアター京都との共通会員）については，メールマガジンで先行発売の情報などを配信し，会員数の維持・拡大を図りました。

（参考）会員数の推移

会　員　制　度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
京都コンサートホールClub	2,897 名	2,761 名	2,071 名	2,530 名
京 響 友 の 会　　個 人 会 員	1,433 名	1,439 名	1,337 名	1,337 名
京 響 友 の 会　　法 人 会 員	95 社	98 社	92 社	92 社

※京響友の会について，令和３年度は休止

（参考）フレンズ会員登録数

年　度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新 規 登 録 数	7,857 名	9,458 名	3,982 名	5,873 名
累 計 登 録 数	50,898 名	60,356 名	64,338 名	70,211 名

（２）賛助会員制度の運営

京都コンサートホール及びロームシアター京都の主催事業の一層の充実のため，年間を通じた支援を受けるべく，賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）を設けています。会員の方には，会報の送付，チケットの先行予約のほか，会員向けバックステージツアーやゲネプロ公開を行うなど，会員の方に事業内容を深くご理解いただき継続してご支援いただけるように努めました。

なお，寄附金は，京都コンサートホール及びロームシアター京都の主催事業の事業費に充当しました。

※事業報告会について，令和２年度，３年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし

（参考）会員数と寄附金

会員区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
スペシャルサポーター　（法人）	2 件	100 万円	2 件	100 万円	2 件	100 万円
サ　ポ　ー　タ　ー　（法人）	28 件	290 万円	20 件	210 万円	17 件	180 万円
スペシャルパートナー　（個人）	36 件	176 万円	33 件	218 万円	28 件	149 万円
パ　ー　ト　ナ　ー　（個人）	46 件	92 万円	52 件	104 万円	48 件	96 万円
合　計	112 件	658 万円	107 件	632 万円	95 件	525 万円

■　地域文化会館
（東部文化会館，呉竹文化センター，西文化会館ウエスティ，北文化会館，右京ふれあい文化会館）

Ⅰ　主催事業〔全５５事業６７公演８講座
（うち中止１１事業１４公演３講座，延期１事業１講座，４事業実施なし）〕

地域文化会館が地域の文化芸術の活動拠点として，平成２３年度から取り組んできた「地域文化芸術活動活性化協議会」「文化芸術活性化パートナーシップ事業」などを，新型コロナウイルス感染症の影響がある中においても引き続き実施し，文化芸術活動団体，行政，学校関係，地元の各団体等とのネットワークを強化し，文化芸術活動や情報の受発信，文化芸術活動団体の育成や支援，地域イベントへの積極的な関与など，地域の文化芸術の振興に取り組みました。

１　地域文化芸術活動活性化協議会の開催

地域文化芸術活動活性化協議会からの提案や意見を受け，コーディネイターが地域の文化芸術活動団体・個人と連携する事業を文化会館で実施し，魅力ある地域づくりに貢献してまいりました。

西文化会館ウエスティでは，コロナ禍における安全対策として会場を大きなホールに変更して，京都市立芸術大学古典派音楽研究会の協力のもと，「ウエスティ・パフォーマンス広場“音楽のクリスマスプレゼント”」，右京ふれあい文化会館では，開館２０周年記念事業として，リモート講演「音楽の息づくまち・右京～太秦が生んだ世界的指揮者佐渡裕さんをお迎えして～」や，名作映画の上映会「京都・太秦キネマの町～名作映画誕生の地～」を開催しました。

※　地域文化芸術活動活性化協議会とは

文化芸術活動団体，行政の代表者，教育機関の代表者などで構成され，地域ネットワークの構築，文化芸術の情報提供，アウトリーチ事業の開催協力，施設運営への助言や意見交換などを行うとともに，協議会の持つネットワークを活用し，文化芸術活動情報の受発信，事業の協働企画・開催など，地域文化会館が文化芸術の活動拠点として，より一層，地域における文化芸術の活性化を図るとともに，魅力ある地域のまちづくりに貢献するため，平成２３年度から各地域文化会館に設置しています。

２　地域文化会館の重点的な取組

地域文化会館では，以下の５つの視点を重視した文化事業を実施しました。

①　文化芸術活性化パートナーシップ事業
②　地域における文化芸術普及事業
③　地域の文化芸術活動を担う人材育成事業
④　住民の文化芸術活動への支援型事業

⑤　施設間の交流事業

（１）文化芸術活性化パートナーシップ事業

地域の文化芸術の活性化を図るため，各地域文化会館ではパートナー団体と協働で，鑑賞型の「無料公演」に加え，地域の子どもたちを対象とした育成型プログラムである「教育プログラム」を実施しました。

西文化会館ウエスティでは，吹奏楽団京都ムジークフェラインが未就学児及び小学生を対象に，お芝居や楽器クイズなどを交えたストーリー形式のアンサンブル演奏会「わくわく！みにみに☆コンサート♪」を，また，北文化会館では，吹奏楽団「雅」が「～日本を元気に！みやびと楽しむ吹奏楽の祭典～」を開催し，コロナ禍の中，地域の方々に生の演奏を楽しんでいただけました。

（参考）令和3年度パートナーシップ団体

会　館　名	パートナーシップ団体
東　部　文　化　会　館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル 京都橘大学吹奏楽部
呉竹文化センター	墨染交響楽団
西文化会館ウエスティ	吹奏楽団京都ムジークフェライン 特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
北　文　化　会　館	吹奏楽団「雅」 京都セシリア合唱団（活動休止）
右京ふれあい文化会館	NEO吹奏楽団 RAM吹奏楽団

※令和２年度は，新型コロナウイルス感染症の影響により，各団体が十分な活動ができなかったことから，令和３年度は，地域の文化芸術の活性化に向けた活動の充実を目的とし，令和２年度と同じパートナー団体（１０団体）に継続の依頼を行ったところ，上記９団体（１団体辞退）となりました。

※　文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

演劇・音楽・ダンスなど舞台芸術活動団体（パートナーシップ団体）と地域文化会館が，協働して地域の文化芸術を活性化することを目的とし，魅力ある舞台芸術を披露する「無料公演」，未来を担う子どもたちを対象にワークショップやミニコンサートなどを行う「教育プログラム」を会館内外で年１回以上開催することを条件に，拠点となる文化会館のホールを練習で利用する場合，通常料金の２割で利用することができるほか，文化会館が活動情報の発信や地域活動への協力などを行う事業です。

（２）地域における文化芸術普及事業

ア　伝統的芸術文化の紹介

伝統音楽・伝統芸能を文化会館５館が連携し，東京２０２０オリンピック・パラリンピックを契機として広く発信・披露する「KYOTO伝統芸能フェスティバル２０２１」を開催しました。東部文化会館ではわかりやすい解説とワークショップを交えた「地域のみんなの狂言鑑賞会」，西文化会館ウエスティではプロの噺家による質の高い伝統話芸「ウエスティ寄席」，北文化会館では北区の民俗芸能や大学生による演目「KITABUN伝統芸能鑑賞会」，右京ふれあい文化会館では開館２０周年記念事業として「京の三大念佛狂言～壬生・嵯峨・千本ゑんま堂」をそれぞれ開催しました。

（参考）「KYOTO伝統芸能フェスティバル2021」の公演ラインナップ

会 館 名	タイトル	内　　容
東 部 文 化 会 館	伝統音楽・伝統芸能シリーズ 「地域のみんなの狂言鑑賞会」	小学生を対象とし，狂言の解説とワークショップを交えた鑑賞会
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	地域の伝統文化との出会い 「藤森雅楽会」※出演者辞退により中止	藤森雅楽会による実演と神社及び雅楽の歴史についてのレクチャー
西文化会館ウエスティ	伝統芸能シリーズ 「ウエスティ寄席」	露の紫，桂よね吉，笑福亭鶴笑，桂小文枝による4席の落語を披露
北　文　化　会　館	KITABUN伝統芸能鑑賞会	伝統芸能を継承する地元の団体・大学サークルの出演による鑑賞会
右京ふれあい文化会館	京の三大念佛狂言～壬生・嵯峨・千本ゑんま堂	国の重要無形民俗文化財等指定の京都の三大念佛狂言保存会による実演

イ　アウトリーチ事業

活動団体（文化芸術活動団体）を主催団体（学校等の教育施設，病院や福祉施設，商業施設等）に派遣し，ワークショップやミニコンサートを行うアウトリーチ事業については，令和３年度は活動団体と連携し，新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を施したうえで，地域の文化芸術の振興に向けて取り組みました。

令和３年度より新たに，京都市文化会館×京都市交響楽団連携事業として楽団員によるアウトリーチコンサートを開催し，京都市立呉竹総合支援学校と京都市立西総合支援学校の生徒，関係者等を対象に，気兼ねなく生演奏に触れ音楽を楽しむことのできる機会を提供しました。

（３）地域の文化芸術活動を担う人材育成事業

ア　地域の教育機関との連携

京都市立芸術大学と各地域文化会館が連携して才能ある若い世代を支援するため，西文化会館ウエスティで「ウエスティ音暦（おとごよみ）」２公演，北文化会館で「文化会館コンサート」２公演（うち無観客オンライン配信１公演）を開催しました。また，東部文化会館では，京都橘大学と連携し，文化芸術の振興に寄与する人材の育成を目的とした「文化芸術による地域貢献プロジェクト」を引き続き実施しました。

さらに，京都市内の総合支援学校の生徒，保護者等を対象とし，気兼ねなく生演奏に触れ音楽を楽しむことのできる機会を提供するため，令和３年度は京都市立西総合支援学校と京都市立呉竹総合支援学校の生徒及び関係者を対象に，アンサンブルコンサートを京都市交響楽団と連携して，開催しました。

イ　子どもを対象とした体験型事業

次世代の文化芸術活動を担う子どもたちが劇場という場を体験し，多様な芸術表現に触れ，豊かな感性と創造性を身につけるための事業として，西文化会館ウエスティでは「夏休みウエスティたんけんツアー」を実施し，バックステージツアーでは舞台音響・照明の操作体験を提供しました。

（４）住民の文化芸術活動への支援型事業

ア　市民参加型事業（活動団体の支援）

市民の誰もが文化芸術活動に参加し自己表現することに感動できる事業として，令和３年度も引き続き呉竹文化センター，西文化会館ウエスティ，北文化会館で「市民創造ステージ」を，東部文化会館では，地域との連携・協働による参加型事業として，地域のコーラスサークルによる発表や交流の場とする「第16回コーラス・フェスティバル in 山科・醍醐」を開催しました。

イ　地域と連携しアーティストのパフォーマンスを支援

地域ネットワークを活用し，地元で活動している文化芸術活動団体にパフォーマンスの場を提供し，地域への活動情報の発信などを通じてアーティストの技術・芸術性向上への支援を行う西文化会館ウエスティの「ウエスティ・パフォーマンス広場」を開催しました。

ウ　「右京ふれあい文化会館」開館２０周年記念事業

市民に親しまれてきた右京ふれあい文化会館が，令和３年９月で開館２０年を迎え，記念事業として，右京区ゆかりの著名人によるリモート講演「音楽の息づくまち・右京～太秦が生んだ世界的指揮者佐渡裕さんをお迎えして～」や，近隣の太秦には映画撮影所があることから，キネマの町に因んで，映画監督の中島貞夫氏等による講演会や，日本の昔懐かしい名作映画の上映会による「京都・太秦キネマの町～名作映画誕生の地～」などを開催しました。

エ　創作文化活動の作品展示

賑わいスペースの創出として，東部文化会館では「ギャラリーエコム」，呉竹文化センターでは「くれたけミニギャラリー」，西文化会館ウエスティでは「ウエスティ　ギャラリー」，北文化会館では「KITABUNミニギャラリー」，右京ふれあい文化会館では「右京ふれあいミニギャラリー」を通年で開催し，創作文化活動を行う，個人・団体に作品展示の場を無料で提供しました。

オ　舞台芸術活動なんでも相談会

市民の舞台芸術の発表の場において芸術性や創造性を高めるため，公演やコンサートでの照明・音響演出，舞台運営方法など舞台づくりに関する相談について，専門性豊かな技術担当者が提案やアドバイスを行いました。

（５）施設間の交流事業

ア　鑑賞型事業の実施

市民が京都市交響楽団を通じて，気軽にクラシック音楽を楽しめるように，京都市交響楽団のメンバー「京都しんふぉにえった」が演奏する「ちょっと素敵な朝からクラシック」を呉竹文化センター（２公演），北文化会館（１公演）で開催しました。

また，京都市交響楽団と連携し，文化会館５館において低料金で０才から入場できる「みんなのコンサート」の開催や，京都市内の総合支援学校の生徒，関係者等を対象とし，楽員が地域に出向き，気兼ねなく生演奏に触れ音楽を楽しめる機会を提供するアンサンブルコンサートを開催しました。

イ　乳幼児，幼児向けの公演の実施

ロームシアター京都との連携事業として，シアターデビュー促進プログラム「物語を旅する～お空のせかい～」を東部文化会館（２公演），「風のみた夢」を呉竹文化センター（２公演）で開催し，子どもたちの創造性を豊かにするとともに，親子で舞台芸術に触れる機会を提供しました。

ウ　京都市ジュニアオーケストラの活動支援

京都コンサートホールとの連携事業で京都市交響楽団の楽団員等が指導する「京都市ジュニアオーケストラ」においては，音楽活動を充実させるため，練習会場として各地域文化会館を活用するとともに，呉竹文化センターでは，「ミュージック・サマー・コンサート」を無料で開催し，活動内容の情報を発信するなど，若いオーケストラを支える環境づくりを行いました。

（参考）文化会館における事業・公演数の変遷

年　度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事 業 数	50 事業	53 事業	50 事業	55 事業
公 演 数	74 公演	70 公演	68 公演	67 公演
講 座 数	20 講座	18 講座	7 講座	8 講座

※上記の数にアウトリーチ事業は含まない。
※新型コロナウイルス感染症の影響により，令和元年度はうち中止5事業10公演，
令和2年度はうち中止14事業37公演1講座，延期16事業9公演5講座，5事業実績なし，
令和3年度はうち中止11事業14公演3講座，延期1事業1講座，4事業実施なし。

Ⅱ　受託事業

１　指定管理業務

（１）施設（貸館）の利用実績

地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとともに，指定管理者として利用料金収入の増収を図るため，営業の強化に努めるとともに割引制度などを導入し，利用の促進を図りました。

しかしながら，新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業の中止等が生じ，利用日数や利用料金収入の実績に引き続き影響が生じ，令和２年度よりは回復傾向にあるものの，先行きの読めない状況が続いています。

そうした中，文化芸術の創造・発信拠点として当施設が担っている役割を果たしていくことで，文化芸術都市・京都のまち全体の発展に引き続き寄与していくことが重要であるという考えのもと，新型コロナウイルス感染症拡大防止のためホールの利用について「安全対策ガイドライン」を策定・改定し，感染症の状況や特徴を踏まえた具体的な利用上の注意点を示す等により，感染拡大防止に努めながら催しが開催できるよう工夫しました。また，場内サービス，各種設備の運転等についても，感染症の状況を踏まえた運用の見直し等を行ったほか，検温機器の導入やアクリル板等の設置，ロビーにおける椅子の配置の見直し等も行い，引き続き安全，安心で快適な劇場空間の提供に努めました。

東部文化会館

ア　入場者数及び利用料金収入額

区　　分	令和2年度	令和3年度
入場者数（ホール）数値	10,445 名	19,208 名
利用料金収入額	15,722 千円	23,808 千円
駐車場利用料金収入額	2,128 千円	2,472 千円

イ　日数利用率（ホール）

区　　分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用率（日数）の目標値	62 %	63 %	62 %	55 %
利用率（日数）の実績値	64 %	55 %	36 %	59 %
目標達成度	103.2 %	87.3 %	58.1 %	107.3 %

呉竹文化センター

ア　入場者数及び利用料金収入額

区　　分	令和2年度	令和3年度
入場者数（ホール）数値	17,079 名	30,460 名
利用料金収入額	22,385 千円	32,059 千円

イ　日数利用率（ホール）

区　　分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用率（日数）の目標値	78 %	76 %	75 %	77 %
利用率（日数）の実績値	74 %	69 %	42 %	67 %
目　標　達　成　度	94.9 %	90.7 %	56.0%	88.3%

西文化会館ウエスティ

ア　入場者数及び利用料金収入額

区　　分	令和2年度	令和3年度
入場者数（ホール）数値	9,533 名	16,721 名
利 用 料 金 収 入 額	16,172 千円	25,071 千円
駐車場利用料金収入額	1,760 千円	2,742 千円

イ　日数利用率（ホール）

区　　分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用率（日数）の目標値	62 %	61 %	62 %	62 %
利用率（日数）の実績値	60 %	60 %	41 %	63 %
目　標　達　成　度	96.8 %	98.3 %	66.1%	101.6 %

北文化会館

ア　入場者数及び利用料金収入額

区　　分	令和2年度	令和3年度
入場者数（ホール）数値	9,111 名	17,089 名
利 用 料 金 収 入 額	19,759 千円	29,320 千円

イ　日数利用率（ホール）

区　　分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用率（日数）の目標値	80 %	80 %	80 %	80 %
利用率（日数）の実績値	77 %	59 %	39 %	67 %
目　標　達　成　度	96.3 %	73.7 %	48.8 %	83.8 %

右京ふれあい文化会館

ア　入場者数及び利用料金収入額

区　　分	令和2年度	令和3年度
入場者数（ホール）数値	12,842 名	24,123 名
利 用 料 金 収 入 額	20,417 千円	29,513 千円
駐車場利用料金収入額	1,935 千円	2,888 千円

イ　日数利用率（ホール）

区　　分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用率（日数）の目標値	76 ％	76 ％	74 ％	78 ％
利用率（日数）の実績値	69 ％	67 ％	46 ％	63 ％
目　標　達　成　度	90.8 ％	88.1 ％	62.2 ％	80.8 ％

（２）舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術，舞台音響，舞台照明等に関する企画業務を受託しました。これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し，利用者はもとより，観客に満足していただける舞台運営に努めました。

（参考）令和3年度 催し物の企画業務に関する受託状況

会　館　名	受託件数	受 託 内 容	収 入 金 額
西文化会館ウエスティ	3 件	ダンス発表会，幼稚園発表会	33,000 円
右京ふれあい文化会館	1 件	学芸会	11,000 円
計	4 件		44,000 円

２　お客様へのサービス向上に向けた取組

（１）お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進【再掲】

京都コンサートホール　７ページ参照

（２）アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置【再掲】

京都コンサートホール　７ページ参照

（３）施設・設備の維持管理

いずれの施設においても開館から２０年以上が経過しているため，施設の所有者である京都市による施設の改修及び修繕のほか，財団でも，京都市との指定管理契約に基づき，計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

また，各文化会館において施設・設備の老朽化が進む中，京都市等と連携し，大規模改修を踏まえた施設・設備長寿命化計画の作成に取り組みました。

（参考）主な修繕事例（財団実施分）

会　館　名	修　繕　内　容
東　部　文　化　会　館	冷温水発生機（RB-2）ガス遮断弁修繕
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	空調機Ｖベルト取替
西文化会館ウエスティ	座席布地張替（ホール）修繕
北　文　化　会　館	消防設備不良箇所修繕
右京ふれあい文化会館	エレベーターカゴ上通信用基板取替修繕

３　利用促進向上の取組

（１）地域文化会館割引制度

平成２３年度からの利用料金制度導入に伴い，地域文化会館のホール利用を促進するため，平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

ア　平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ）及びロームシアター京都（メインホール・サウスホール），地域文化会館（ホール）のいずれかで，演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており，ホール本番利用日の２箇月前の日から本番までの平日利用に限り，ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は，通常利用料金の５０％を割り引く制度。

（参考）令和3年度 平日直前利用割引制度適用件数

会　館　名	受託件数	主 な 利 用 者
東　部　文　化　会　館	5 件	バレエ教室，学校関係
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	4 件	ダンス教室，音楽団体等
西文化会館ウエスティ	4 件	バレエ教室，音楽団体等
北　文　化　会　館	5 件	合唱団体
右京ふれあい文化会館	3 件	バレエ教室，音楽団体等
計	21 件	

イ　平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に２区分以上連続して利用する場合は，通常利用料金の１５％を割り引く制度。

（参考）令和3年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会　館　名	受託件数	主 な 利 用 者
東　部　文　化　会　館	39 件	幼稚園，保育園，学校関係等
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	56 件	学校関係，幼稚園，バレエ教室等
西文化会館ウエスティ	24 件	学校関係，幼稚園，バレエ教室等
北　文　化　会　館	39 件	学校関係，幼稚園，バレエ教室等
右京ふれあい文化会館	39 件	ダンス教室，バレエ教室等，音楽教室等
計	197 件	

■　ロームシアター京都

Ⅰ　主催・共催事業

〔３２事業８３公演７講座（うち中止４事業８公演，延期２事業７公演）〕

ロームシアター京都は，令和３年１月から３月にかけて行った「ロームシアター京都開館５周年記念事業」を経て，令和３年度は，より一層「世界市民のための劇場」になるべく，劇場文化の創出に努めました。広場であり，知の集積の場を目指し，『つながり（交流）』を全事業の包含する要素として位置づけ，『つくり（創造）』，『育て（育成）』，『活かす（生活）』有機的なサイクルを作り上げるべく，取組んでまいりました。

令和３年度のプログラムテーマは「声」としました。これには，大きく二つの意味を持たせており，ひとつは，自分たちの「声」を取りもどすこと，そしてもう一つは，声なき声に耳を傾けることです。

洋の東西を問わず世界水準の優れた作品をお届けすることはもちろん，劇場の財産となる作品のプロデュースや次代を担う芸術家の育成に国際的な視点で取り組んでまいりました。更にロームシアター京都が開かれた場として，人々の交流を活性化させるべく，京都の様々な施設や団体と連携しながら，地域に根をおろしていく事業を展開しました。あわせて，賑わいスペース事業やミュージックサロン事業等により，賑わいの創出や身近に文化芸術に親しむための取組を進めました。

１　主催・共催事業関連

令和３年度は，プログラムテーマを「声」とし，停滞した舞台芸術活動を再開し，自分たちの「声」＝表現を取り戻そうと，制限のある上演・創作環境のなかでも場をつくり出し，観客との関係をあきらめないアーティストたちとの協働によってプログラムを展開しました。

しかし，海外アーティストの入国規制は続き，さらにオミクロン株の蔓延によって，再び，舞台芸術は多大な影響を受け，ロームシアター京都の公演も中止が相次ぎました。なかでも，太陽劇団「金夢島 L'ÎLE D'OR」，ウィリアム・フォーサイス「Three Quiet Duets」といった大型招聘公演に対して，お客様から大きな期待をいただいておりましたが，中止という残念な結果となりました。太陽劇団については，劇団の軌跡を追うドキュメンタリー映画を代わりに上映しました。

一方，膨大な手続きや調整を経て，３年ぶりの小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトは海外キャストを含めた形での上演を実現し，ピチェ・クランチェン・ダンスカンパニー「No. 60」の上演は令和３年１２月から令和４年３月に延期の上，主催事業としては約１５ヶ月ぶりの海外作品招聘公演となりました。

自ら舞台芸術作品を企画・制作するシリーズ「レパートリーの創造」では，鋭い感性と確かな筆力を高く評価され，第６４回岸田國士戯曲賞を受賞した，才能あふれる新世代の劇作家・演出家，市原佐都子の代表作「妖精の問題」の再創作をプロデュースしました。京都での初演ののち東京公演（会場：リーブラホール，主催：シアターコモンズ実行委員会）も実施しました。２０１６年（平成２８年）に起きた相模原障害者施設殺傷事件をきっかけに，市原が自身のなかに存在する優生思想や日本社会での生き辛さを直視し創作された本作は，

新たなキャスト，スタッフを迎え，鋭い視点で社会に問いかける舞台と評価されました。また，同シリーズで２０２０年に発表した，ジゼル・ヴィエンヌ，エティエンヌ・ビドー=レイ「ショールームダミーズ #4」はヨーロッパを代表する芸術祭のひとつであるフェスティバル・ドートンヌ・ア・パリに招聘され，ポンピドゥー・センターでのパリ公演も実現しました。ロームシアター京都製作の舞台の初海外公演となり，渡航費などについて，クラウド・ファンディングへの挑戦も行い，多くの方々から目標額を超える支援をいただき，成功させることができました。

さらに, 地域文化会館や青少年活動センターなど, 京都で活動する他の文化施設と連携し, 京都における文化芸術のハブとしての機能を高めるための事業や舞台芸術の入り口となる普及事業を実施しました。また，伝統芸能が育まれ「芸能が在る処」である，専門劇場に注目して，そこを切り口とした伝統芸能入門講座を開講し,「劇場文化をつくる」をミッションに掲げるロームシアター京都ならではの企画を実現しました。

【主な事業】

● 演劇

・レパートリーの創造「妖精の問題　デラックス」作・演出：市原佐都子

・プレイ！シアター in Summer 2021<ステージプログラム>

こども古典名作劇 カンパニーデラシネラ「ドン・キホーテ」

・第355回～第359回 市民寄席

・白井晃演出「アルトゥロ・ウイの興隆」

● 舞踊

・ピチェ・クランチェン・ダンスカンパニー「No. 60」(展示，ワークショップも実施)

・東京バレエ団　HOPE JAPAN2021　東日本大震災10年　コロナ禍復興プロジェクト

● 音楽

・新国立劇場　高校生のためのオペラ鑑賞教室2021

ガエターノ・ドニゼッティ：歌劇「ドン・パスクワーレ」

・京都市交響楽団×藤野可織　オーケストラストーリーコンサート

「ねむらないひめたち」

・Sound Around 001　作曲・出演：いまいけぷろじぇくと

・小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXVⅢ　J.シュトラウスⅡ世：喜歌劇「こうもり」

● 総合

・京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2021

・ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU”

・ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業

シアターデビュー促進プログラム「風のみた夢」，「物語を旅する ～お空のせかい～」

・プレイ！シアター in Summer 2021<オープンデイ>

・岡崎活性化企画 OKAZAKI PARK STAGE 2021

● 参加する劇場へ ～学芸・教育プログラム

ロームシアター京都が開かれた場所として，人々の交流や憩いの場となるよう，さまざまな形で積極的に参加できる取組を行いました。

・伝統芸能入門講座　～芸能の在る処～

・ロームシアター京都×（公財）京都市ユースサービス協会連携事業

「未来のわたし ―劇場の仕事―」

・劇場の学校プロジェクト

・地域の課題を考えるプラットフォーム

・ロームシアター京都 リサーチプログラム

・「いま」を考えるトークシリーズ Vol.15～Vol.18

２　賑わいスペース事業

「京都会館賑わいスペース事業プラン」を推進するため，賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と調整・連携を図り，市民や観光客の皆様の憩いの場となるパークプラザを中心に，ブック&カフェ，レストラン，キオスクといった常設の店舗が高い評価を得て運営されるよう努めました。

ただし，令和３年度においても，新型コロナウイルス感染症の影響により，営業時間の短縮や臨時休業を行わざるを得ず，イベント等の取組についても例年どおりの内容や規模での実施が困難となりました。国内外からの観光客の激減なども続き，入店者数も大幅に減少した厳しい一年となりました。

事業内容	店舗名	営業時間※
ブック&カフェ （パークプラザ１階）	京都岡崎 蔦屋書店 スターバックスコーヒー	午前８時から午後１０時
レストラン （パークプラザ２階）	京都モダンテラス	午前８時から午後１１時
キオスク（サウスホール１階 ホワイエ内）	ファミリーマート	午前８時から午後１０時
ギャラリー・ライブラリー （パークプラザ３階共通ロビー）	BOOK&ART GALLERIA	午前９時から午後７時 （開館時間等に応じて変更）

※新型コロナウイルス感染症の影響等により，本欄記載の時間から一時的に変更し営業しました。また，臨時で休業した日があります。

実績　入店者数

区　分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入　店　者　数　の　実　績　値	1,720,295名	1,125,605名	1,266,065名

３　ミュージックサロン事業

音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総合体験施設「ミュージックサロン」（パークプラザ３階）を，公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションと共同運営しています。①音楽その他文化芸術に関する資料の展示，②セミナー，講演会，コンサート等の文化芸術イベントの開催を中心としており，令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により，展示の実施を見送りましたが，令和３年度は約７箇月間展示を実施しました。イベントに関しては，「ROHM CLASSIC SPECIAL トーク＆コンサート」４回をオンライン配信（ライブ，アーカイヴ）し，多くの方にお届けしました。

	事　業　日	事業名・内容等
1	9月14日（火）～ 12月5日（日）	【展示】 オペラの扉2021 ～ KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION ～ オペラで巡る世界の旅
2	12月10日（金） 11日（土）	【オンラインコンサート（無料・ライブ配信）】 ROHM CLASSIC SPECIAL トーク＆コンサート 黒川侑×久末航　ラヴェルへのオマージュ 黒川侑（お話とヴァイオリン），久末航（お話とピアノ） 田添菜穂子（司会） 中桐望 故郷ポーランドへの想い 中桐望（お話とピアノ），田添菜穂子（司会）
3	2022年 1月7日（金）	【オンラインコンサート（無料・ライブ配信）】 ROHM CLASSIC SPECIAL トーク＆コンサート 務川慧悟の仏蘭西日記 務川慧悟（お話とピアノ），朝岡聡(司会)
4	2022年 1月21日（金）～ 3月20日（日）	【展示】 小澤征爾音楽塾展2022 20年以上にわたる小澤征爾音楽塾のあゆみを振り返りながら、音楽塾の人気演目・喜歌劇「こうもり」の見どころを，オーケストラ・ピットに登場する実物楽器の展示や過去映像とともに紹介。
5	2022年 3月23日（水）	【オンラインコンサート（無料・ライブ配信）】 ROHM CLASSIC SPECIAL トーク＆コンサート 横坂源×津田裕也 チェロで描くショパンの心模様 横坂源（お話とチェロ），津田裕也（お話とピアノ） 朝岡聡(司会)

実績　来場者数

区　分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
来場者数の実績値	9,440名	9,964名	－	2,343名

Ⅱ　受託事業

１　指定管理業務

（１）施設（貸館）の利用実績

リニューアルオープンから６年となるロームシアター京都は，令和３年度においても，各施設の特性を生かした舞台芸術公演や式典，集会，MICEといった様々な催しで，多くの方にご利用いただく予定となっておりました。しかしながら，令和２年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により，開催自粛や海外からの出演者の来日が不可能となるなど，催しのキャンセルや内容変更が相次ぎました。また，緊急事態宣言に伴う臨時休館により，利用の取止めをお願いする事態も生じたため，利用日数や利用料金収入，また来場者数といった実績は目標を大きく下回る結果となりました。

ロームシアター京都は多くの人が同時に空間を共有する場であるため，施設や催しの特性に応じた適切な感染拡大防止対策を確実に実施することで，文化芸術の創造・発信拠点として当施設が担っている役割を果たし，文化芸術都市・京都のまち全体の発展に引き続き寄与していくため，令和２年度に策定した「ロームシアター京都における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を引き続き運用し，感染拡大防止に努めながら催しが開催できるよう工夫しました。さらにサーモグラフィー等の機材・設備等の適切な運用のほか，場内サービス等についても，感染症の状況を踏まえた運用の見直しを積極的に行い，安全，安心で快適な劇場空間を提供しました。

また，新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け，公演等の活動を休止した団体及び個人等に対し，令和３年１１月から令和４年２月にかけて，京都府文化団体等活動継続支援事業を活用した公演を募集し，施設利用料金等について京都府が負担とする活動支援を実施しました。

実績１　利用料金収入額

区　分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用料金収入の目標値	343,149 千円	351,389 千円	346,296 千円
利用料金収入の実績値	337,152 千円	136,254 千円	274,933 千円
目標達成度	98.3 ％	38.8 ％	79.4 ％

実績２　入場者数

区　分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入場者数の目標値	510,000 名	520,000 名	330,000 名
入場者数の実績値	478,875 名	76,076 名	210,564 名
目標達成度	93.9 ％	14.6 ％	63.8%

実績３　日数利用率

区　分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
メインホール	利用率(日数)の目標値	82 %	81 %	82 %
	利用率(日数)の実績値	74 %	49 %	63 %
	目　標　達　成　度	90.2 %	60.5 %	76.8 %
サウスホール	利用率(日数)の目標値	81 %	78 %	76 %
	利用率(日数)の実績値	77 %	46 %	63 %
	目　標　達　成　度	95.1 %	59.0 %	82.9 %
ノースホール	利用率(日数)の目標値	73 %	76 %	74 %
	利用率(日数)の実績値	77 %	59 %	67 %
	目　標　達　成　度	105.5 %	77.6 %	90.5 %

（２）岡崎公園の利用受付業務

ロームシアター京都に隣接する岡崎公園の利用受付等に関する業務を京都市より受託し，申請書の受付等の業務を行いました。

２　お客様へのサービス向上に向けた取組

（１）お客様満足度向上委員会（CS委員会）や研修等の実施

利用者・来場者の安心・安全を確保し，施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため，職員や委託業者が参加するCS（顧客満足度向上）委員会や研修等を開催しました。

（２）アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」の設置【再掲】

京都コンサートホール　７ページ参照

（３）賑わいスペース事業者定期連絡会の開催

賑わいスペース事業における各店舗の責任者等との定期的な連絡会を開催し，日常的な施設運営に係る様々な情報共有を行い，サービスの向上に努めました。

（４）施設・設備の維持管理

リニューアルオープンから６年となるロームシアター京都では，施設としての機能を適切に維持するため，中央監視装置用の監視パソコン等の交換や機材の修繕等を実施したほか，利用者や観客，また，スタッフ等の安全面や快適性を視野に入れた機能向上に引き続き取り組んでいます。所有者である京都市による施設・設備の修繕のほか，財団におきましても京都市との指定管理契約に基づき，修繕や機能向上に取り組みました。

（参考）主な修繕・機能向上等事例（財団実施分）

修　繕　・　機　能　向　上　内　容
メインホール2Fホワイエライティングレール増設
メインホールオペラカーテン機構修繕
チケットカウンター窓口マイクシステム設置

３　広報・宣伝，チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

主催事業ラインアップ・リーフレット，催物カレンダーの作成，ホームページやSNSの運用，賑わい事業者と連携した取組，また，様々な広報媒体への働きかけ等により，効果的な情報提供や話題作りを行い，劇場への期待感を高めるとともに，施設の認知度を高める取組を引き続き進めました。

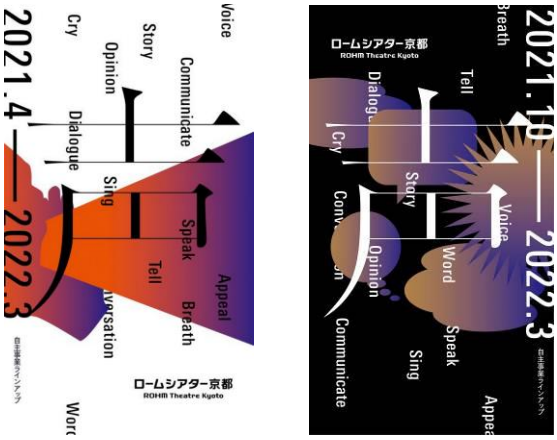
加えて，企業からの協賛金や以前より獲得してきている文化庁等の助成金のほか，新型コロナウイルス関連の新規助成金制度にも積極的に申請し，各種助成金獲得へ向けた取組強化を行うとともに，平成２６年度に開始した賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）についても，引き続き新規の会員獲得に取り組むほか，会員の更新手続きを改善する等，外部資金の獲得等による劇場経営の基盤強化を図り，積極的な事業展開につなげています。

（１）主催事業ラインアップ・リーフレットの発行

平成２９年度から引き続き，主催事業ラインアップを事業の趣旨に分類して紹介するレイアウトで構成し２回発行しました。（春号：令和３年４月，秋号：令和３年１０月）

（２）催物カレンダーの発行

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のほか，ロームシアター京都で開催される最新の催物情報を掲載したものを毎月発行し，催し物情報の提供やチケット販売促進に努めました。

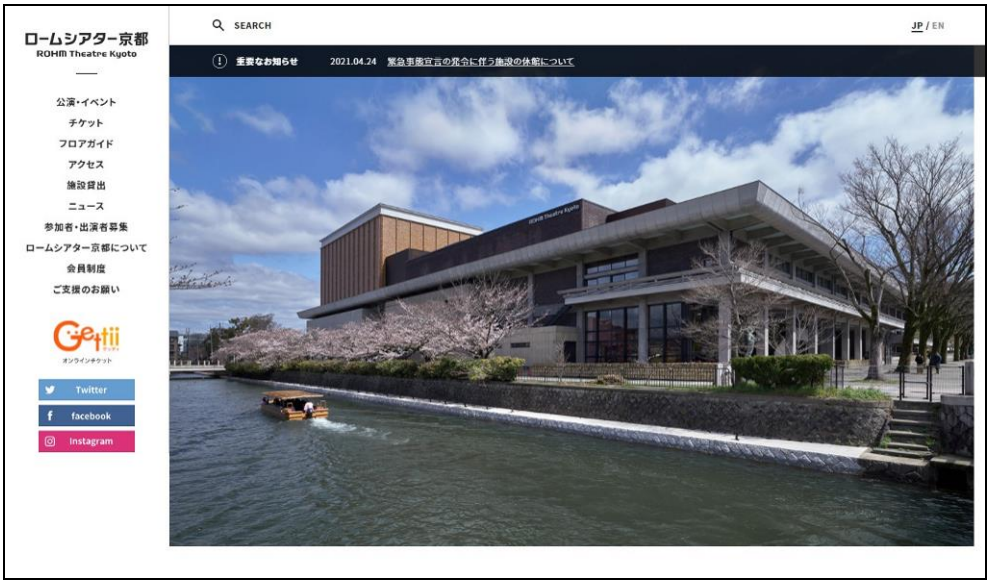


（１）主催事業ラインアップ・リーフレット

（２）催物カレンダー

（３）ホームページ等の充実

ホームページについては，アクセス分析等を踏まえ，適宜仕様変更を行いました。また，FacebookやTwitter等のSNSも活用し，効果的な情報提供に努めました。



（４）チケット票券管理システムの効果的な運用【再掲】

京都コンサートホール　１０ページ参照

（５）電子チケットの導入【再掲】

京都コンサートホール　１０ページ参照

（６）貸館利用者のチケット販売受託業務の実施【再掲】

京都コンサートホール　１０ページ参照

（７）外部資金の獲得【再掲】

京都コンサートホール　１２ページ参照

４　各種会員制度の運営

（１）各種会員制度の会員数拡大に向けた取組【再掲】

京都コンサートホール　１２ページ参照

（２）賛助会員制度の運営【再掲】

京都コンサートホール　１３ページ

■　京都市交響楽団

Ⅰ　主催・共催事業
〔全３０事業５３公演（うち中止２事業５公演）〕

１　定期演奏会
新型コロナウイルス感染症の影響により，一部の演奏会では，海外からの指揮者やソリストが来日できなかったため，出演者や曲目の変更等はありましたが，広上淳一（第１３代常任指揮者兼芸術顧問），ジョン・アクセルロッド（首席客演指揮者）に加え，巨匠から実力派，新進気鋭の若手まで幅広く指揮者やソリストを招き，古典から近・現代までの魅力あふれる楽曲を数多く揃え，芸術性の高い，充実した演奏を提供しました。また，緊急事態宣言の発出により，５月の演奏会は中止となりましたが，オンライン配信を実施し，多くのお客様に視聴していただくことができました。

２　特別演奏会
恒例のスプリングコンサート，ニューイヤーコンサートに加えて，令和２年度は開催できなかった第九コンサートを開催し，充実した出演者と心躍る楽曲により，時節を彩る演奏をお届けしました。

３　市外公演
新型コロナウイルス感染症の影響により，大阪公演は中止となりましたが，名古屋公演に加えて，広上淳一（第１３代常任指揮者兼芸術顧問）の指揮により東京公演を実施し，京響友の会名誉会員の高円宮久子妃殿下のご出席も賜り，日本屈指の演奏力と評される京響の知名度や評価の全国区での更なる浸透を図りました。

４　オーケストラ・ディスカバリー　～こどものためのオーケストラ入門～
「発見！もっとオーケストラ！！」と題して，オーケストラやクラシック音楽が持つ魅力を名曲の演奏と楽しいお話でご案内しました。青少年の情操の向上や健全な心の育成とともに，若い世代へのオーケストラの振興と普及を図ることを目的として，定期演奏会の会員への導入コンサートとしての位置づけで開催し，将来のクラシック愛好家を育みました。

５　みんなのコンサート
地域文化会館を会場に低料金かつ０才から入場できる演奏会を開催し，日頃クラシック音楽に接する機会の少ない市民の皆様にも身近で生の演奏に接する機会を提供し，地域密着型のオーケストラとしてクラシック音楽の普及，クラシック音楽ファンの醸成，京響ファンの獲得を図りました。

６　ロームシアター京都及び地域文化会館との連携事業

クラシック音楽のジャンルを超えたアーティスト・芸術文化とのコラボレーションによる演奏会をオンライン配信により開催し，オーケストラの生み出す新しい音楽世界の魅力を提供することにより，幅広いオーケストラファンの獲得を図りました。

また，地域文化会館が実施する市内総合支援学校におけるアウトリーチ事業に協働で取り組み，地域の文化芸術の振興を図りました。

７　共催事業

新型コロナウイルス感染症の影響により，例年どおりの京都市内の小・中学校の全児童・生徒を対象とした音楽鑑賞教室は開催できませんでしたが，演奏の様子を映像収録したDVDを全小学校に配布することで，クラシック音楽の普及とクラシックファンの獲得を図りました。

８　その他演奏会等

（１）楽器講習会等

新型コロナウイルス感染症の影響により，例年どおりの開催はできませんでしたが，吹奏楽連盟の協力のもと，中学生及び高校生を対象に，オンラインまたはDVDで楽器の実技指導や音楽全般に関する指導・助言を行いました。

（２）京響コーラス

新型コロナウイルス感染症の対策として，ディスタンスの確保やコーラス用マスクの着用などを行ったうえで練習を重ね，広上淳一×京響コーラス「フォーレ：レクイエム」や第九公演など、５回の演奏会で共演しました。

（３）京都市ジュニアオーケストラ

８月のサマーコンサートと１月の定期コンサートに向けて，楽団員によるジュニアオーケストラメンバーへの直接指導を行いました。コンサートも含めた一連の活動を通して，若い演奏家たちに演奏技術の向上や文化芸術を通して相互理解を図る貴重な機会を提供するとともに，一般の方々に未来を担う若い世代の演奏を鑑賞する機会を提供しました。

（４）派遣（アンサンブル）演奏

京都市会での演奏や，二条城まつり，京都サンガ等のパーティなど，京都市が開催する行事や依頼に基づくイベント等において，少人数の編成での演奏を行いました。

９　京響友の会

新型コロナウイルス感染症における社会状況を鑑み，令和３年度は会員募集を休止しました。休止期間におけるサービスとして，令和２年度の会員を対象に，友の会機関紙の送付や定期演奏会等のチケットの割引価格での先行購入の案内等を行いました。

Ⅱ　受託事業

新型コロナウイルス感染症の影響により，多くの演奏会が中止となりましたが，「フェスタサマーミューザKAWASAKI」等，京都市交響楽団の京都市内外での知名度の向上を図るとともに，より充実した主催事業を実施するための資金を獲得するため，びわ湖ホール主催のオペラなど，２４事業３７公演（うち５事業５公演中止）を受託しました。

■　組織運営のための取組

Ⅰ　組織人員体制・配置等の最適化

１　組織体制

令和３年度は,「中期経営計画２０２１」の最終年度であり，計画に掲げた取組の総仕上げを行うとともに，次の４年間のビジョンを描き，次期計画を取りまとめました。

また，ロームシアター京都の中間評価の報告書を策定するため委員会を設置し，指定管理者として信任，選定され続けるための準備を行うための年度となりました。

上記の取り組みを行うため，令和２年度の組織体制を継続しつつ，全体として効率化を図るとともに，施設間，所属間，所属内の連携をより一層高め，財団全体としての能力を最大限発揮できるよう，体制整備を行いました。

２　中期経営計画２０２５の策定

財団では中長期的な視点に立った経営を推進していくために，中期経営計画を策定し，これに基づき事業を展開しています。中期経営計画２０２１の計画期間が令和３年度までであったことから，今後とも様々な環境の変化に対応して，財団の使命を果たし存在価値を高めていくことを目的として，新たに「中期経営計画２０２５」（計画期間：令和４～７年度）を策定しました。

３　京都市交響楽団ビジョンの実現に向けた取組

令和３年度においても「京響ビジョン」の５つの戦略の推進に向けて，京都市との協議・連携のもと，財政・人的支援の確保を行い，京都市交響楽団の安定的な運営の実現に向け取組を進めてまいりました。

４　組織運営

以下の会議の定例的な開催により，京都コンサートホール，地域文化会館，ロームシアター京都及び京都市交響楽団の管理運営に係る事項について情報を共有し，貸館業務，施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた主催事業の展開等について検討しました。また，新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい財務状況を改善すべく，更なる資金調達を目指し，検討を重ねるなど，円滑な財団運営に努めました。

① 財団定例会

構成員：専務理事，事務局長，ロームシアター京都副館長，京都市交響楽団エグゼクティブプロデューサー，総務部長，事業管理部長，京都市交響楽団管理部長，京都市交響楽団演奏事業部長，総務課長，コンサートホール管理課長，文化会館管理課長，ロームシアター京都管理課長，経理係長，事業企画係長

② 文化会館館長会議

構成員：専務理事，事務局長，総務部長，事業管理部長，総務課長，文化会館管理課長，文化会館館長，経理係長

③ 文化会館連絡会議

構成員：文化会館管理課長（チーフコーディネイター），文化会館副館長

④ ロームシアター京都定例会

構成員：専務理事，ロームシアター京都館長，事務局長，ロームシアター京都副館長，総務部長，ロームシアター京都総務・営業部長，ロームシアター京都管理課長，舞台技術課長，ロームシアター京都庶務係長，ロームシアター京都管理係長，事業担当係長

⑤ 京都市交響楽団定例会

構成員：専務理事，事務局長，京都市交響楽団エグゼクティブプロデューサー，総務部長，京都市交響楽団管理部長，京都市交響楽団演奏事業部長，京都市交響楽団管理課長，担当課長，京都市交響楽団営業・マーケティング課長，京都市交響楽団演奏事業課長，京都市交響楽団演奏事業係長

⑥ 資金調達会議

構成員：専務理事，事務局長，ロームシアター京都副館長，総務部長，事業管理部長，京都市交響楽団管理部長

５　人事異動

令和３年４月１日付けで総数１７名の人事異動を行いました。

（参考１）財団職員数の推移

職　名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般職員（総合職）	39 名	46 名	47 名	47 名
一般職員（楽団職）	－	－	81 名	81 名
嘱　託　職　員	39 名	44 名	48 名	47 名
市からの出向職員	7 名	6 名	6 名	6 名
市派遣嘱託職員	84 名	84 名	－	－
計	169 名	180 名	182 名	181 名

※各年度すべて4月1日現在の人数。

※令和2年度から京都市交響楽団楽団員の当財団への受入れのため，職名変更。

（参考２）財団役職別職員数の推移

職　名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
局　長　級	2 名	2 名	3 名	3 名
部　長　級	3 名	2 名	5 名	4 名
課　長　級	14 名	14 名	13 名	15 名
係　長　級	14 名	16 名	15 名	15 名
リーダー（主任）	11 名	12 名	11 名	13 名
職　員	41 名	50 名	54 名	50 名
音楽スタッフ	4 名	4 名	4 名	4 名
楽　団　員	80 名	80 名	77 名	77 名
計	169 名	180 名	182 名	181 名

Ⅱ　働き方改革等への対応

パートタイム・有期雇用労働法に関する法改正への対応を的確に行い，財団内の職員間における不合理な待遇の差をなくし，どのような雇用形態の職員にとっても働きやすい職場環境づくりに努めました。

令和３年度については引き続き，年次有給休暇の取得の促進や時間外労働の抑制を行うとともに，コロナ禍の状況に合わせ時差出勤など柔軟な働き方を推進しました。

Ⅲ　人材育成・職員研修

職員一人ひとりが，常に知識，意欲，技術の向上を図ることで，利用者により一層好感度を高めていただくとともに，市民の文化芸術活動を適切に支援し，さらに文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう研修を実施しました。

令和３年度は，管理職に求められる基本機能等について，必要なスキルを習得することを目的とした管理職研修を実施しました。

また，各施設において消防訓練の実施など，様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより，職員の緊急時における対応・知識力を向上させ，不測の事態にも冷静に対応できるように備えました。

（参考）令和３年度　研修内容

研　　修　　名	管理職（評価者）研修
実　　施　　日	令和3年7月13日（火）
受　講　人　数	31名
研　修　内　容	「管理職（評価者）研修」 ・管理職（リーダー）に求められる基本機能　ほか （業績・成果のマネジメント，人・組織のマネジメント） 講　師：株式会社Consulente HYAKUNEN 上野　佐保　氏
会　　場	京都市北文化会館　創造活動室

Ⅳ　庶務報告

１　役員会の開催

令和３年度は，次のとおり理事会及び評議員会を開催し，すべての議案について可決されました。

（１）第１回理事会　　令和３年６月３日

（書面評決）

＜議案＞　・令和２年度事業報告について
・令和２年度特定費用準備資金保有について
・令和２年度決算について
・令和３年度追加事業について
・令和３年度第１回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
・顧問の選任について

・京都市交響楽団企画運営委員会委員の選任について
・京都国際舞台芸術祭（KYOTO　EXPERIMENT）実行委員会への債務保証について

＜報告＞　・新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について
・代表理事及び職務執行理事の職務執行状況について

（２）第１回評議員会　　令和３年６月１８日

（書面評決）

＜議案＞　・令和２年度事業報告について
・令和２年度決算について
・監事及び評議員の辞任について
・監事の選任について
・評議員の選任について

＜報告＞　・新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について

（３）第２回理事会　　令和３年１１月１１日

＜議案＞　・令和４年度主要事業計画について

＜報告＞　・新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について
・中期経営計画２０２５（仮称）の策定について
・京響友の会制度について
・代表理事及び職務執行理事の職務執行状況について

（４）第３回理事会　　令和４年３月２４日

＜議案＞　・中期経営計画２０２５の策定について
・特定費用準備資金及び特定資産取得・改良資金の計画期間等の変更について
・令和３年度補正予算について
・令和４年度事業計画について
・令和４年度収支予算について
・寄付金等取扱規程の改正について

＜報告＞　・新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について
・代表理事及び職務執行理事の職務執行状況について

２　役員の異動

（１）第１回評議員会による承認

ア　監事の就任

氏　名	役　職（承認日現在）	就　任　日
津　嶋　俊　郎	京都市文化市民局くらし安全推進部長	令和３年６月１８日

イ　監事の辞任

氏　名	役　職（退任日現在）	辞　任　日
並　川　哲　男	前京都市文化市民局くらし安全推進部長	令和３年６月１８日

ウ　評議員の就任

氏　名	役　職（承認日現在）	就　任　日
葛　城　万寿子	京都商工会議所女性会会長	令和３年６月１８日
山　中　博　昭	京都市文化芸術政策監	令和３年６月１８日

エ　評議員の辞任

氏　名	役　職（退任日現在）	辞　任　日
北　村　信　幸	前京都市文化芸術政策監	令和３年６月１８日
毛　利　ゆき子	京都商工会議所女性会直前会長	令和３年６月１８日

３　登記事項

（１）第１回評議員会による理事・監事及び評議員の変更

氏　名	登　記　日
評　議　員　葛　城　万寿子 評　議　員　山　中　博　昭 監　　事　津　嶋　俊　郎	令和３年７月１２日

■その他

Ⅰ　事業運営の透明化，適正化の推進

１　舞台芸術企画運営委員会・貸館等審査委員会

京都コンサートホール及びロームシアター京都を審議対象とする「公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団舞台芸術企画運営委員会」を年２回開催し，企画・運営に関する基本事項や京都ならではの舞台芸術の創造や発信を目的とする舞台芸術活動への審議や助言をいただきました。

また，両館の貸館事業をより適切に運営するため，「貸館等審査委員会」を開催する予定でしたが，新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

Ⅱ　環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取組として，平成２０年２月に認証取得したKESステップ１について，令和４年２月に継続認証を取得しました。

また，エネルギー削減を行うため，施設内の適正冷暖房の設定及び不必要な電灯の消灯等の取組を徹底してまいりました。

Ⅲ　情報の収集

下記の会議等に参画することで，事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報収集を行いました。

該当施設等	会　議　等
京都コンサートホール	公益社団法人全国公立文化施設協会
	公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部
	京都府公立文化施設協議会
	コンサートホール企画連絡会議
	劇場、音楽堂等連絡協議会
ロームシアター京都	公益社団法人全国公立文化施設協会
	公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部
	京都府公立文化施設協議会
	劇場、音楽堂等連絡協議会
	公共劇場舞台技術者連絡会
京都市交響楽団	公益社団法人日本オーケストラ連盟
財団	大都市文化振興財団等連絡会

『収益事業』

Ⅰ　公益目的外の施設提供事業

１　駐車場経営

指定管理業務として，主に来館者向け駐車場を運営しました。

（参考）

会　館　名	駐車可能台数	収入金額
京都コンサートホール	100 台	11,355,470 円
東　部　文　化　会　館	37 台	2,472,100 円
西文化会館ウエスティ	53 台	2,742,600 円
右京ふれあい文化会館	67 台	2,888,600 円
計	台	19,458,770 円

２　オリジナルグッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ（１６種類），音楽に関連したグッズ（約３０種類），ロームシアター京都オリジナルグッズ（１種類）及び京響オリジナルグッズ（３種類）を販売しました。

（参考）

項　目	収入金額
京都コンサートホールグッズ収入	184,178 円
ロームシアター京都グッズ収入	166,350 円
プ ロ グ ラ ム 等 販 売 収 入	34,400 円
チ　ケ　ッ　ト　印　刷	61,140 円
京 響 オ リ ジ ナ ル グ ッ ズ 収 入	961,421 円
そ　の　他	749,430 円
計	2,156,919 円

３　プレイガイドの運営

主催者から，入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し，それぞれのプレイガイドで販売しました。

（参考）入場券販売業務受託状況

会　館　名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	145 件	12,192,655 円
東　部　文　化　会　館	0 件	0 円
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	2 件	4,800 円
西文化会館ウエスティ	0 件	0 円
北　文　化　会　館	5 件	12,010 円
右京ふれあい文化会館	0 件	0 円
ロ ー ム シ ア タ ー 京 都	89 件	5,826,236 円
計	241 件	18,035,701 円

４　自動販売機の管理運営

京都コンサートホールに設置された自動販売機の管理運営を行いました。

（参考）

会　館　名	収入金額
京都コンサートホール	18,878 円
ロームシアター京都	351,200 円
計	370,078 円

令和３年度

決　　算　　書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸　借　対　照　表

令和４年３月３１日現在

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	142,021,202	165,776,220	△ 23,755,018
未収金	386,195,095	324,488,308	61,706,787
貯蔵品	7,755,527	7,669,078	86,449
立替金	4,667,578	1,662,096	3,005,482
前払金	0	181,500	△ 181,500
流動資産合計	540,639,402	499,777,202	40,862,200
２．固定資産			
⑴基本財産			
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0
普通預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	103,000,000	103,000,000	0
⑵特定資産			
記念事業引当資産	56,920,000	56,920,000	0
管理運営引当資産	331,000,000	331,000,000	0
退職給付引当資産	220,204,618	176,821,942	43,382,676
楽団職退職手当準備資金	81,117,484	30,000,000	51,117,484
京都ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ記念事業準備資金	32,000,000	32,000,000	0
ﾛｰﾑｼｱﾀｰ京都記念事業準備資金	40,000,000	40,000,000	0
京響70周年記念事業準備資金	71,500,000	71,500,000	0
ﾛｰﾑｼｱﾀｰ京都事業準備資金	7,040,000	7,040,000	0
楽器購入資金（ﾊｰﾌﾟ）	7,500,000	2,500,000	5,000,000
楽器購入資金（ｺﾝﾄﾗﾌｧｺﾞｯﾄ）	5,000,000	0	5,000,000
楽器購入資金（ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ）	7,000,000	0	7,000,000
特定資産合計	859,282,102	747,781,942	111,500,160
⑶その他固定資産			
什器備品	74,912,208	75,798,974	△ 886,766
電話加入権	314,370	314,370	0
その他固定資産合計	75,226,578	76,113,344	△ 886,766
固定資産合計	1,037,508,680	926,895,286	110,613,394
資産合計	1,578,148,082	1,426,672,488	151,475,594
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	311,167,863	303,923,403	7,244,460
未払法人税等	320,000	320,000	0
前受金	181,749,686	145,308,735	36,440,951
預り金	70,463,732	71,368,600	△ 904,868
賞与引当金	38,697,380	41,971,142	△ 3,273,762
仮受金	0	76,800	△ 76,800
流動負債合計	602,398,661	562,968,680	39,429,981
２．固定負債			
退職給付引当金	220,204,618	176,821,942	43,382,676
固定負債合計	220,204,618	176,821,942	43,382,676
負債合計	822,603,279	739,790,622	82,812,657

貸　借　対　照　表

令和４年３月３１日現在

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
京都市出えん金	55,000,000	55,000,000	0
京都市補助金	81,117,484	30,000,000	51,117,484
指定正味財産合計	136,117,484	85,000,000	51,117,484
（うち基本財産への充当額）	(55,000,000)	(55,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(81,117,484)	(30,000,000)	51,117,484
２．一般正味財産	619,427,319	601,881,866	17,545,453
（うち基本財産への充当額）	(48,000,000)	(48,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(557,960,000)	(540,960,000)	17,000,000
正味財産合計	755,544,803	686,881,866	68,662,937
負債及び正味財産合計	1,578,148,082	1,426,672,488	151,475,594

令和３年度正味財産増減計算書

令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減	備　考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１．経常増減の部				
⑴経常収益				
①基本財産運用益	355,000	355,000	0	
1 基本財産運用益	355,000	355,000	0	
基本財産受取利息等	355,000	355,000	0	
②特定資産運用益	118,631	56,346	62,285	
1 特定資産運用益	118,631	56,346	62,285	
特定資産受取利息等	118,631	56,346	62,285	
③事業収益	1,941,608,943	1,456,838,037	484,770,906	
1 自主・共催事業収益	585,715,866	465,597,248	120,118,618	
入場料収益	120,460,612	48,062,420	72,398,192	
参加料収益	1,666,700	1,038,500	628,200	
友の会会費	2,530,000	10,541,750	△ 8,011,750	
京響ｺｰﾗｽ会費	2,573,000	1,126,000	1,447,000	
広告料収益	21,704,000	19,502,427	2,201,573	
共催事業収益	225,671,984	229,234,994	△ 3,563,010	
助成金収益	207,443,000	152,143,652	55,299,348	
物品販売等収益	1,868,263	1,371,939	496,324	
著作隣接権等収益	1,798,307	2,575,566	△ 777,259	
2 事業受託収益	98,278,875	58,771,772	39,507,103	
事業受託収益	98,278,875	58,771,772	39,507,103	
3 管理受託収益	742,971,851	676,851,041	66,120,810	
管理受託収益	742,971,851	676,851,041	66,120,810	
4 利用料収益	482,122,320	227,066,213	255,056,107	
ﾎｰﾙ利用料金収益	462,663,550	214,329,573	248,333,977	
駐車場利用料金収益	19,458,770	12,736,640	6,722,130	
5 その他事業収益	32,520,031	28,551,763	3,968,268	
企画・演出手数料等収益	6,451,265	3,426,222	3,025,043	
賑わい事業収益	17,820,000	19,800,000	△ 1,980,000	
ﾌﾟﾚｲｶﾞｲﾄﾞ事務手数料収益	8,248,766	5,325,541	2,923,225	
④受取補助金等	859,835,523	772,098,431	87,737,092	
1 受取地方公共団体補助金	859,835,523	772,098,431	87,737,092	
京都市補助金	859,835,523	772,098,431	87,737,092	
⑤受取寄付金	10,278,500	19,077,850	△ 8,799,350	
1 受取寄付金	10,278,500	19,077,850	△ 8,799,350	
寄付金収益	10,278,500	19,077,850	△ 8,799,350	
⑥雑収益	86,358,038	321,477,360	△ 235,119,322	
1 雑収益	86,358,038	321,477,360	△ 235,119,322	
受取利息等	50	359	△ 309	
管理手数料等収益	6,366,817	3,402,692	2,964,125	
雑収益	79,991,171	318,074,309	△ 238,083,138	
経常収益合計	2,898,554,635	2,569,903,024	328,651,611	

令和３年度正味財産増減計算書

令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減	備　考
⑵経常費用				
①事業費	2,797,654,392	2,557,483,585	240,170,807	
役員報酬	3,226,587	3,176,531	50,056	
給料手当	1,040,789,431	1,033,809,741	6,979,690	
賞与引当金繰入額	37,140,478	40,435,960	△ 3,295,482	
退職給付費用	84,876,067	19,052,167	65,823,900	
臨時雇賃金	49,650,803	41,863,005	7,787,798	
福利厚生費	181,912,464	182,609,858	△ 697,394	
会議費	0	980	△ 980	
旅費交通費	24,181,270	12,677,544	11,503,726	
通信運搬費	19,464,855	18,510,308	954,547	
減価償却費	12,176,109	15,062,243	△ 2,886,134	
消耗什器備品費	13,126,488	2,514,600	10,611,888	
消耗品費	32,362,439	54,525,781	△ 22,163,342	
商品費	1,946,037	390,506	1,555,531	
修繕費	32,246,567	28,466,245	3,780,322	
印刷製本費	31,777,043	31,015,091	761,952	
広告宣伝費	17,662,338	17,483,249	179,089	
光熱水料費	151,949,411	121,470,857	30,478,554	
賃借料	58,585,955	55,449,597	3,136,358	
保険料	2,302,252	1,961,864	340,388	
諸謝金	3,240,433	2,999,313	241,120	
租税公課	61,539,517	46,805,260	14,734,257	
支払負担金	18,741,480	760,870	17,980,610	
チケット購入額	28,620	10,224	18,396	
支援事業助成金	53,130	0	53,130	
委託費	910,284,527	815,953,181	94,331,346	
支払手数料等	7,384,276	8,744,016	△ 1,359,740	
雑費	1,005,815	1,734,594	△ 728,779	
②管理費	31,917,302	26,800,519	5,116,783	
役員報酬	2,449,120	2,812,208	△ 363,088	
給料手当	13,481,773	13,054,178	427,595	
賞与引当金繰入額	1,556,902	1,535,182	21,720	
退職給付費用	4,774,663	1,173,795	3,600,868	
福利厚生費	3,376,064	3,814,054	△ 437,990	
会議費	1,778	1,215	563	
旅費交通費	132,930	241,270	△ 108,340	
通信運搬費	72,755	171,551	△ 98,796	
減価償却費	385,668	354,553	31,115	
消耗什器備品費	94,600	0	94,600	
消耗品費	468,504	519,043	△ 50,539	
修繕費	29,700	0	29,700	
印刷製本費	19,800	78,650	△ 58,850	

令和３年度正味財産増減計算書

令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減	備　考
賃借料	800	0	800	
保険料	237,250	0	237,250	
諸謝金	392,334	447,334	△ 55,000	
租税公課	2,398,459	1,728,720	669,739	
支払負担金	213,800	213,800	0	
委託費	1,825,977	640,421	1,185,556	
支払手数料等	4,425	14,545	△ 10,120	
経常費用合計	2,829,571,694	2,584,284,104	245,287,590	
当期経常増減額	68,982,941	△ 14,381,080	83,364,021	
２．経常外増減の部				
⑴経常外収益	0	49,600,000	△ 49,600,000	
①固定資産受贈益				
1 固定資産受贈益				
什器備品受贈益	0	49,600,000	△ 49,600,000	
固定資産受贈益計	0	49,600,000	△ 49,600,000	
②固定資産売却益				
1 固定資産売却益				
什器備品売却益	0	1,210,000	△ 1,210,000	
固定資産受贈益計	0	1,210,000	△ 1,210,000	
経常外収益計	0	50,810,000	△ 50,810,000	
⑵経常外費用	4	39	△ 35	
①固定資産除却損				
1 固定資産除却損				
什器備品除却損	4	39	△ 35	
固定資産除却損計	4	39	△ 35	
経常外費用計	4	39	△ 35	
当期経常外増減額	△ 4	50,809,961	△ 50,809,965	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	17,865,453	6,428,881	11,436,572	
法人税，住民税及び事業税	320,000	320,000	0	
当期一般正味財産増減額	17,545,453	6,108,881	11,436,572	
一般正味財産期首残高	601,881,866	595,772,985	6,108,881	
一般正味財産期末残高	619,427,319	601,881,866	17,545,453	
Ⅱ　指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	51,117,484	30,000,000	21,117,484	
指定正味財産期首残高	85,000,000	55,000,000	30,000,000	
指定正味財産期末残高	136,117,484	85,000,000	51,117,484	
Ⅲ　正味財産期末残高	755,544,803	686,881,866	68,662,937	

令和３年度正味財産増減計算書　内訳書

令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合　計
	公１	公２	小　計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ｵｰｹｽﾄﾗによる 文化芸術事業					
Ⅰ　一般正味財産増減の部							
１．経常増減の部							
⑴経常収益							
①基本財産運用益	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
1 基本財産運用益	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
基本財産受取利息等	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
②特定資産運用益	118,631	0	118,631	0	0	0	118,631
1 特定資産運用益	118,631	0	118,631	0	0	0	118,631
特定資産受取利息等	118,631	0	118,631	0	0	0	118,631
③事業収益	1,418,446,132	318,863,176	1,737,309,308	367,588,251	31,917,302	△ 195,205,918	1,941,608,943
1 自主・共催事業収益	391,530,489	201,380,074	592,910,563	2,156,919	0	△ 9,351,616	585,715,866
入場料収益	36,416,662	84,043,950	120,460,612	0	0	0	120,460,612
参加料収益	1,111,700	555,000	1,666,700	0	0	0	1,666,700
友の会会費	2,530,000	0	2,530,000	0	0	0	2,530,000
京響ｺｰﾗｽ会費	0	2,573,000	2,573,000	0	0	0	2,573,000
広告料収益	16,054,000	5,650,000	21,704,000	0	0	0	21,704,000
共催事業収益	215,680,127	19,054,817	234,734,944	0	0	△ 9,062,960	225,671,984
助成金収益	119,738,000	87,705,000	207,443,000	0	0	0	207,443,000
物品販売等収益	0	0	0	2,156,919	0	△ 288,656	1,868,263
著作隣接権等収益	0	1,798,307	1,798,307	0	0	0	1,798,307
2 事業受託収益	24,191,858	117,483,102	141,674,960	5,780,442	0	△ 49,176,527	98,278,875
事業受託収益	24,191,858	117,483,102	141,674,960	5,780,442	0	△ 49,176,527	98,278,875
3 管理受託収益	565,409,581	0	565,409,581	145,644,968	31,917,302	0	742,971,851
管理受託収益	565,409,581	0	565,409,581	145,644,968	31,917,302	0	742,971,851
4 利用料収益	437,314,204	0	437,314,204	167,779,381	0	△ 122,971,265	482,122,320
ﾎｰﾙ利用料金収益	437,314,204	0	437,314,204	148,320,611	0	△ 122,971,265	462,663,550
駐車場利用料金収益	0	0	0	19,458,770	0	0	19,458,770
5 その他事業収益	0	0	0	46,226,541	0	△ 13,706,510	32,520,031
企画・演出手数料等収益	0	0	0	10,370,840	0	△ 3,919,575	6,451,265
賑わい事業収益	0	0	0	17,820,000	0	0	17,820,000
ﾌﾟﾚｲｶﾞｲﾄﾞ事務手数料収益	0	0	0	18,035,701	0	△ 9,786,935	8,248,766
④受取補助金等	0	853,889,234	853,889,234	5,946,289	0	0	859,835,523
1 受取地方公共団体補助金	0	853,889,234	853,889,234	5,946,289	0	0	859,835,523
京都市補助金	0	853,889,234	853,889,234	5,946,289	0	0	859,835,523
⑤受取寄付金	9,210,000	1,068,500	10,278,500	0	0	0	10,278,500
1 受取寄付金	9,210,000	1,068,500	10,278,500	0	0	0	10,278,500
寄付金収益	9,210,000	1,068,500	10,278,500	0	0	0	10,278,500
⑥雑収益	56,195,075	0	56,195,075	30,162,963	0	0	86,358,038
1 雑収益	56,195,075	0	56,195,075	30,162,963	0	0	86,358,038
受取利息等	50	0	50	0	0	0	50
管理手数料等収益	0	0	0	6,366,817	0	0	6,366,817
雑収益	56,195,025	0	56,195,025	23,796,146	0	0	79,991,171
経常収益合計	1,484,324,838	1,173,820,910	2,658,145,748	403,697,503	31,917,302	△ 195,205,918	2,898,554,635

令和３年度正味財産増減計算書　内訳書

令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合　計
	公１	公２	小　計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ｵｰｹｽﾄﾗによる 文化芸術事業					
⑵経常費用							
①事業費	1,454,856,075	1,136,222,148	2,591,078,223	401,782,087	0	△ 195,205,918	2,797,654,392
役員報酬	1,843,764	1,152,353	2,996,117	230,470	0	0	3,226,587
給料手当	279,161,208	648,627,108	927,788,316	113,001,115	0	0	1,040,789,431
賞与引当金繰入額	22,674,388	6,041,246	28,715,634	8,424,844	0	0	37,140,478
退職給付費用	57,099,211	8,555,177	65,654,388	19,221,679	0	0	84,876,067
臨時雇賃金	16,919,157	3,441,608	20,360,765	29,290,038	0	0	49,650,803
福利厚生費	51,812,157	106,850,928	158,663,085	23,249,379	0	0	181,912,464
旅費交通費	8,402,278	15,741,958	24,144,236	52,994	0	△ 15,960	24,181,270
通信運搬費	8,478,503	10,228,789	18,707,292	757,563	0	0	19,464,855
減価償却費	6,111,966	4,664,896	10,776,862	1,399,247	0	0	12,176,109
消耗什器備品費	9,321,037	1,802,208	11,123,245	2,003,243	0	0	13,126,488
消耗品費	17,916,749	9,812,488	27,729,237	4,783,973	0	△ 150,771	32,362,439
商品費	0	0	0	1,946,037	0	0	1,946,037
見本費	0	0	0	34,119	0	△ 34,119	0
修繕費	25,271,852	3,056,812	28,328,664	3,917,903	0	0	32,246,567
印刷製本費	22,085,030	8,326,775	30,411,805	1,365,238	0	0	31,777,043
広告宣伝費	11,716,605	5,526,661	17,243,266	478,440	0	△ 59,368	17,662,338
光熱水料費	115,294,670	4,497,420	119,792,090	32,157,321	0	0	151,949,411
賃借料	97,703,386	78,214,970	175,918,356	1,386,457	0	△ 118,718,858	58,585,955
保険料	947,057	1,221,972	2,169,029	133,223	0	0	2,302,252
諸謝金	868,165	1,023,789	1,891,954	1,348,479	0	0	3,240,433
租税公課	38,624,917	3,161,212	41,786,129	19,753,388	0	0	61,539,517
支払負担金	1,000,950	17,671,680	18,672,630	68,850	0	0	18,741,480
チケット購入額	28,620	0	28,620	0	0	0	28,620
支援事業助成金	4,340,677	0	4,340,677	0	0	△ 4,287,547	53,130
委託費	654,234,520	193,445,477	847,679,997	134,510,447	0	△ 71,905,917	910,284,527
支払手数料等	2,406,186	2,719,322	5,125,508	2,258,768	0	0	7,384,276
雑費	593,022	437,299	1,030,321	8,872	0	△ 33,378	1,005,815
②管理費	0	0	0	0	31,917,302	0	31,917,302
役員報酬	0	0	0	0	2,449,120	0	2,449,120
給料手当	0	0	0	0	13,481,773	0	13,481,773
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	1,556,902	0	1,556,902
退職給付費用	0	0	0	0	4,774,663	0	4,774,663
福利厚生費	0	0	0	0	3,376,064	0	3,376,064
会議費	0	0	0	0	1,778	0	1,778
旅費交通費	0	0	0	0	132,930	0	132,930
通信運搬費	0	0	0	0	72,755	0	72,755
減価償却費	0	0	0	0	385,668	0	385,668
消耗什器備品費	0	0	0	0	94,600	0	94,600
消耗品費	0	0	0	0	468,504	0	468,504
修繕費	0	0	0	0	29,700	0	29,700
印刷製本費	0	0	0	0	19,800	0	19,800
賃借料	0	0	0	0	800	0	800

令和３年度正味財産増減計算書　内訳書

令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合　計
	公１	公２	小　計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ｵｰｹｽﾄﾗによる 文化芸術事業					
保険料	0	0	0	0	237,250	0	237,250
諸謝金	0	0	0	0	392,334	0	392,334
租税公課	0	0	0	0	2,398,459	0	2,398,459
支払負担金	0	0	0	0	213,800	0	213,800
委託費	0	0	0	0	1,825,977	0	1,825,977
支払手数料等	0	0	0	0	4,425	0	4,425
経常費用合計	1,454,856,075	1,136,222,148	2,591,078,223	401,782,087	31,917,302	△ 195,205,918	2,829,571,694
当期経常増減額	29,468,763	37,598,762	67,067,525	1,915,416	0	0	68,982,941
２．経常外増減の部							
⑴経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
⑵経常外費用							
①固定資産除却損							
１ 固定資産除却損							
什器備品除却損	0	0	0	4	0	0	4
固定資産除却損計	0	0	0	4	0	0	4
経常外費用計	0	0	0	4	0	0	4
当期経常外増減額	0	0	0	△ 4	0	0	△ 4
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	29,468,763	△ 13,518,722	15,950,041	1,915,412	0	0	17,865,453
法人税，住民税及び事業税	0	0	0	320,000	0	0	320,000
当期一般正味財産増減額	29,468,763	△ 13,518,722	15,950,041	1,595,412	0	0	17,545,453
一般正味財産期首残高			600,337,350	1,544,516	0	0	601,881,866
一般正味財産期末残高			616,287,391	3,139,928	0	0	619,427,319
Ⅱ　指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額		51,117,484	51,117,484	0	0	0	51,117,484
指定正味財産期首残高			85,000,000	0	0	0	85,000,000
指定正味財産期末残高			136,117,484	0	0	0	136,117,484
Ⅲ　正味財産期末残高			752,404,875	3,139,928	0	0	755,544,803

財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針

⑴　有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額による。なお償却原価法については，取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため，適用していない。

⑵　たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品…先入先出法による原価法を採用している。

⑶　固定資産の減価償却の方法

当財団経理規程第２１条に従い，償却費の計算は定率法により行っており，勘定記入の方法は直接法により行っている。

⑷　引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため，当期に帰属する期間の支給見込み額を引き当てている。

退職給付引当金…職員の退職金の支払に備えるため，財団の規程に基づき算出した要支給額から独立行政法人勤労者退職金共済機構の中退共制度による外部拠出額を控除した金額を引き当てている。

⑸　消費税等の会計処理

消費税等の取扱いについては，税込処理方式を採用している。

２．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は，次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小　　計	103,000,000	0	0	103,000,000
特定資産				
記念事業引当資産	56,920,000	0	0	56,920,000
管理運営引当資産	331,000,000	0	0	331,000,000
退職給付引当資産	176,821,942	73,366,384	29,983,708	220,204,618
楽団職退職手当準備資金	30,000,000	71,000,000	19,882,516	81,117,484
京都ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ記念事業準備資金	32,000,000	0	0	32,000,000
ﾛｰﾑｼｱﾀｰ京都記念事業準備資金	40,000,000	0	0	40,000,000
京響70周年記念事業準備資金	71,500,000	0	0	71,500,000
ﾛｰﾑｼｱﾀｰ京都事業準備資金	7,040,000	0	0	7,040,000
楽器購入資金（ﾊｰﾌﾟ）	2,500,000	5,000,000	0	7,500,000
楽器購入資金（ｺﾝﾄﾗﾌｧｺﾞｯﾄ）	0	5,000,000	0	5,000,000
楽器購入資金（ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ）	0	7,000,000	0	7,000,000
小　　計	747,781,942	161,366,384	49,866,224	859,282,102
合　　計	850,781,942	161,366,384	49,866,224	962,282,102

３．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は，次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
京都市債	100,000,000	(55,000,000)	(45,000,000)	－
普通預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	－
小　　計	103,000,000	(55,000,000)	(48,000,000)	(0)
特定資産				
記念事業引当資産	56,920,000	(0)	(56,920,000)	－
管理運営引当資産	331,000,000	(0)	(331,000,000)	－
退職給付引当資産	220,204,618	(0)	(0)	(220,204,618)
楽団職退職手当準備資金	81,117,484	(81,117,484)	(0)	－
京都ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ記念事業準備資金	32,000,000	(0)	(32,000,000)	－
ﾛｰﾑｼｱﾀｰ京都記念事業準備資金	40,000,000	(0)	(40,000,000)	－
京響70周年記念事業準備資金	71,500,000	(0)	(71,500,000)	－
ﾛｰﾑｼｱﾀｰ京都事業準備資金	7,040,000	(0)	(7,040,000)	－
楽器購入資金（ﾊｰﾌﾟ）	7,500,000	(0)	(7,500,000)	－
楽器購入資金（ｺﾝﾄﾗﾌｧｺﾞｯﾄ）	5,000,000	(0)	(5,000,000)	－
楽器購入資金（ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ）	7,000,000	(0)	(7,000,000)	－
小　　計	859,282,102	(81,117,484)	(557,960,000)	(220,204,618)
合　　計	962,282,102	(136,117,484)	(605,960,000)	(220,204,618)

４．固定資産取得価額，減価償却累計額及び当期末残高

固定資産取得価額，減価償却累計額及び当期末残高は，次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	215,981,759	141,069,551	74,912,208

５．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額，時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額，時価並びに評価損益は，次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時　　価	評価損益	
京都市債5年(平成29年度第2回)	50,000,000	50,000,000	0	管理運営引当資産
京都市債5年(平成30年度第2回)	50,000,000	50,005,000	5,000	管理運営引当資産
京都市債5年(令和元年度第2回)	50,000,000	49,955,000	△ 45,000	管理運営引当資産
京都市債20年（第18回）	100,000,000	95,690,000	△ 4,310,000	基本財産
合　　計	250,000,000	245,650,000	△ 4,350,000	

６．補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

（単位：円）

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金 京都市交響楽団事業負担金 交付者　京都市	30,000,000	859,835,523	808,718,039	81,117,484
受取補助金計	30,000,000	859,835,523	808,718,039	81,117,484

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
助成金				
舞台芸術創造活動活性化事業 交付者　独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	78,639,000	78,639,000	0
芸術創造普及活動助成 （現代舞台芸術創造普及活動助成） 交付者　独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	5,250,000	5,250,000	0
地域文化振興活動助成 （地域文化施設公演・展示活動助成） 交付者　独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	437,000	437,000	0
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 交付者　独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	41,918,000	41,918,000	0
音楽公演助成 交付者　公益財団法人 ﾛｰﾑﾐｭｰｼﾞｯｸﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ	0	30,600,000	30,600,000	0
公演助成 交付者　公益財団法人 青山音楽財団	0	500,000	500,000	0
公演助成 交付者　特定非営利活動 法人映像産業振興機構	0	47,834,000	47,834,000	0
公演助成 交付者　一般財団法人 地域創造	0	665,000	665,000	0
公演助成 交付者　公益財団法人 日本室内楽振興財団	0	500,000	500,000	0
公演助成 交付者　公益財団法人 アフィニス文化財団	0	500,000	500,000	0
公演助成 交付者　公益財団法人 野村財団	0	200,000	200,000	0
公演助成 交付者　公益財団法人 ｱｻﾋｸﾞﾙｰﾌﾟ芸術文化財団	0	400,000	400,000	0
受取助成金計	0	207,443,000	207,443,000	0
合　　計	30,000,000	1,067,278,523	1,016,161,039	81,117,484

財　産　目　録

令和４年３月３１日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金	手許保管	運転資金として	4,940,379
	普通預金	総務課，ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ管理課，事業企画課，文化会館管理課		
		京都銀行下鴨支店	〃	11,714,610
		三菱ＵＦＪ銀行京都支店	〃	4,326,407
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	67,682
		京都信用金庫北山支店	〃	58,424
		滋賀銀行北大路支店	〃	19,668
		三井住友信託銀行京都支店	〃	20,078
		三井住友銀行京都支店	〃	17,050
		ゆうちょ銀行京都北山郵便局	〃	3,969,795
		京都市交響楽団		
		京都銀行下鴨支店	〃	48,416,190
		三菱ＵＦＪ銀行京都支店	〃	786,746
		三井住友銀行京都支店	〃	13,800
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	1,009,689
		京都信用金庫北山支店	〃	559,914
		ロームシアター京都		
		京都銀行京都市役所前支店	〃	43,809,196
		京都市東部文化会館		
		京都銀行山科中央支店	〃	2,966,730
		京都市呉竹文化センター		
		京都銀行伏見支店	〃	6,732,352
		京都市西文化会館ウエスティ		
		京都銀行上桂支店	〃	2,926,570
		京都市北文化会館		
		京都銀行鞍馬口支店	〃	5,789,444
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	445,119
		京都市右京ふれあい文化会館		
		京都銀行太秦安井支店	〃	1,170,563
	郵便振替	コンサートホール管理課	〃	34,752
		京都市交響楽団	〃	536,587
		ロームシアター京都	〃	698,373
		京都市東部文化会館	〃	65,354
		京都市呉竹文化センター	〃	691,270
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	129,670
		京都市北文化会館	〃	93,070
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	11,720
			＜現金預金計＞	**142,021,202**
	未収金	総務課	指定管理料等	136,155,100
		ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ管理課，事業企画課，文化会館管理課	ホール利用料金等	48,870,032
		京都市交響楽団	公演料，助成金等	101,467,549
		ロームシアター京都	ホール利用料金等	99,056,834
		京都市東部文化会館	〃	170
		京都市呉竹文化センター	〃	137,240
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	147,760
		京都市北文化会館	〃	308,240
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	52,170
			＜未収金計＞	**386,195,095**
	貯蔵品	ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ管理課	販売用商品	615,304
		京都市交響楽団	〃	2,248,130
		ロームシアター京都	照明用ﾎﾟﾘｶﾗｰ	1,768,050
		京都市東部文化会館	〃	661,320
		京都市呉竹文化センター	〃	562,014
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	990,954

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
		京都市北文化会館	〃	477,809
		京都市右京ふれあい文化会館	照明用ﾎﾟﾘｶﾗｰ	431,946
			＜貯蔵品計＞	7,755,527
	立替金	総務課	光熱水料費等	1,043,240
		ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ管理課，事業企画課，文化会館管理課	〃	334,563
		ロームシアター京都	事業に関する立替金等	3,289,775
			＜立替金計＞	4,667,578
流動資産合計				540,639,402
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	18回　京都市公募公債(20年)	運用益を公益目的事業の財源と	100,000,000
	普通預金	京都銀行下鴨支店	している	3,000,000
			＜基本財産計＞	103,000,000
特定資産	記念事業引当資産	普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	56,920,000
			＜記念事業引当資産計＞	56,920,000
	管理運営引当資産	京都市債平成29年度第2回(5年)	〃	50,000,000
		京都市債平成30年度第2回(5年)	〃	50,000,000
		京都市債令和元年度第2回(5年)	〃	50,000,000
		定期預金　京都銀行下鴨支店	〃	10,000,000
		定期預金　三菱UFJ銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金　三井住友銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金　三井住友信託銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金　京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	10,000,000
		定期預金　滋賀銀行北大路支店	〃	10,000,000
		普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	121,000,000
			＜管理運営引当資産計＞	331,000,000
	退職給付引当資産	定期預金　京都信用金庫北山支店	退職給付引当金に充てる	10,000,000
		定期預金　みずほ信託銀行京都支店	〃	10,000,000
		普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	200,204,618
			＜退職給付引当資産計＞	220,204,618
	特定費用準備資金	普通預金　京都銀行下鴨支店	楽団職退職手当準備資金	81,117,484
		〃	京都ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ記念事業準備資金	32,000,000
		〃	ﾛｰﾑｼｱﾀｰ京都記念事業準備資金	40,000,000
		〃	京響70周年記念事業準備資金	71,500,000
		〃	ﾛｰﾑｼｱﾀｰ京都事業準備資金	7,040,000
			＜特定費用準備資金計＞	231,657,484
	特定資産取得・改良資金	普通預金　京都銀行下鴨支店	什器備品購入（ﾊｰﾌﾟ）	7,500,000
			什器備品購入（ｺﾝﾄﾗﾌｧｺﾞｯﾄ）	5,000,000
			什器備品購入（ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ）	7,000,000
			＜特定資産取得・改良資金計＞	19,500,000
その他固定資産	什器備品	総務課	什器備品	1,366,070
		ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ管理課，事業企画課，文化会館管理課	〃	4,602,303
		京都市交響楽団	〃	55,200,368
		ロームシアター京都	〃	3,413,089
		京都市東部文化会館	〃	2,027,653
		京都市呉竹文化センター	〃	2,057,115
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	2,228,633
		京都市北文化会館	〃	2,023,148
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,993,829
			＜什器備品計＞	74,912,208
	電話加入権	ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ管理課，事業企画課，文化会館管理課	電話加入権	314,370
			＜電話加入権計＞	314,370
固定資産合計				1,037,508,680
資産合計				1,578,148,082

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動負債）				
	未払金	総務課	人件費等	113,552,046
		ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ管理課，事業企画課，文化会館管理課	公演経費，ホール運営経費等	47,236,570
		京都市交響楽団	人件費，公演経費等	81,360,634
		ロームシアター京都	公演経費，ホール運営経費等	62,228,216
		京都市東部文化会館	ホール運営経費等	1,428,698
		京都市呉竹文化センター	〃	1,459,798
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	321,621
		京都市北文化会館	〃	2,526,800
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,053,480
			＜未払金計＞	**311,167,863**
	未払法人税等	総務課	法人税等	320,000
			＜未払法人税計＞	**320,000**
	前受金	ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ管理課，事業企画課，文化会館管理課	ホール利用料金等	34,403,925
		京都市交響楽団	友の会会費等	39,053,100
		ロームシアター京都	ホール利用料金等	91,785,281
		京都市東部文化会館	〃	2,907,430
		京都市呉竹文化センター	〃	5,066,660
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	3,037,410
		京都市北文化会館	〃	3,564,880
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,931,000
			＜前受金計＞	**181,749,686**
	預り金	総務課	社会保険料等	6,347,629
		ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ管理課，事業企画課，文化会館管理課	チケット購入代金等	16,248,212
		京都市交響楽団	〃	33,102,872
		ロームシアター京都	公演料，助成金等	11,245,195
		京都市東部文化会館	舞台設備料等	1,134,213
		京都市呉竹文化センター	〃	1,127,610
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	288,128
		京都市北文化会館	〃	474,807
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	495,066
			＜預り金計＞	**70,463,732**
	賞与引当金	職員	賞与引当金	38,697,380
			＜賞与引当金計＞	**38,697,380**
流動負債合計				**602,398,661**
（固定負債）	退職給付引当金	職員	職員退職給付引当金	220,204,618
			＜退職給付引当金計＞	**220,204,618**
固定負債合計				**220,204,618**
負債合計				**822,603,279**
正味財産				**755,544,803**